

# NU7

National University Seven

国立七大学の総合同窓誌

2015.11 No.2

## 七大戦、東北大学三連覇

## 大阪大学

## 西尾章治郎新総長に聞く

### 講演録：新興感染症の脅威と現代世界 —グローバルな感染症の今後

### 七大学・同窓会・会員活動情報

学 士 会

# 第54回七大戦が閉幕、東北大学が史上最高の成績で優勝しました

七大学が40余種目の競技で戦う「第54回全国七大学総合体育大会（七大戦）」が閉幕し、9月26日（土）、主管校の東北大学（片平さくらホール）で閉会式が行われ、優勝旗や学士の総合優勝トロフィーなどが授与されました。

今年の七大戦の優勝校は東北大学で、この6年間続いた“主管校破り”を阻止し、「唯一、“主管校破り”をされたことのない大学」の座を維持しました。成績は、2位阪大に21点の差をつける231ポイントという史上最高を記録、見事三連覇を果たしました。第55回七大戦は、東京大学が主管校となり、12月のアイスホッケーから幕開けとなります。（第54回七大戦、各競技順位詳報は20頁）



学士会トロフィー贈呈



次期大会実行委員長（東大）と今期大会実行委員長



見事3連覇の東北大



主管校、東北大学里見進総長の挨拶

# 西尾 章治郎 大阪大学総長に聞く



インタビュー内容は3頁からです。  
また、大阪大学新理事の紹介は22頁です。

## 七大戦同様、学士会は七大学OBの活動も支援しています

8月1日に七大学OB野球大会が開催されました。本文32頁をご参照ください。



## 七大戦閉会、東北大学三連覇 01

## 大阪大学 西尾章治郎新総長に聞く 03

2015.11 NO.2

[大学 Topics]

7 LECTURE 第20回 関西茶話会

### 新興感染症の脅威と現代世界

11

### —グローバルな感染症の今後

光山正雄（京都大学大学院総合生存学館（思修館）専任特定教授／副館長）

[学生会関西茶話会]

7 UNIV.

### 七大学情報

20

UNIV.1 大阪大学新総長・理事紹介…… 22

[大学 Topics]

UNIV.2 七大学書籍ランキング…… 44

7 ALUMNI

### 同窓会案内・開催報告

32

[同窓会 Topics]

7 NEWS

### 学生会・学生会館より

38

NEWS 1 学生会主催イベント

[学生会・学生会館情報]

NEWS 2 学生会館ニュース

7 MEMBERS

### 会員通信

[会員原稿]

MEMBERS 1 会員活動・会員の声 募集のご案内…… 37

MEMBERS 2 会員ギャラリー …… 47

7 STAFFs

### 編集委員コラム

46

[編集後記]

JOIN US!

### 学生会の紹介

表 4

[学生会 Info.]



表紙写真…大阪大学写真部 森谷大輔

西尾章治郎・大阪大学第18代総長に聞く

## 「多様な知の協奏と共創」で 力強い持続可能な礎を築く

大阪大学第18代総長に西尾章治郎氏が新たに就任しました（8月26日）。これから6年間、どのような舵取りをしようとしているのか、抱負を語っていただきました。

### 西尾 章治郎 第18代大阪大学総長

1975年、京都大学工学部数理工学科卒業。1980年、同大学院工学研究科数理工学専攻博士後期課程修了。博士号（工学）。

京都大学工学部数理工学科助手、大阪大学基礎工学部および情報処理教育センター助教授を経て1992年、大阪大学工学部情報システム工学科教授。

サイバーメディアセンター長、大学院情報科学研究科長、総長補佐、理事・副学長等を歴任。

2015年8月より現職。

### 一人ひとりの「真価」を阪大の「進化」に

——大阪大学総長としてもっとも重要だと考えていることは何でしょうか。

**西尾** 私の総長任期の6年間は、日本の国立大学にとって歴史的な転換点と言われる第三期中期目標・中期計画の期間と重なっています。今回の任期が終わる2021年は、まさに大阪大学創立90周年、大阪外国語大学創立100周年です。そのときまでに、大阪大学をさらに進化・発展させることが私の責務だと思っています。

そこで、私は何をベースにしていけばいいか。それは、大阪大学の構

成員である学生、教員や職員一人ひとりが持っている「真の価値」だと思っています。それを掘り起こし、活かして大学の進化にどのようにつなげるかが私の課題です。

その際に大事なことは、構成員との協調関係です。大学の運営に取り組む上で考えていることは、総長の強力なリーダーシップと学内でのボトムアップによる合意形成は矛盾しないということです。そのことを十分に配慮することが、構成員との協調による問題解決につながると考えます。

私が総長として掲げる言葉は「多様な知の協奏と共創」です。大阪大学における多様な知が連携し合いながら（協奏）、新たな知を構成員と

共に創出していく（共創）ことを目指したいという意味を含めました。それらがうまく噛み合っていけば、大阪大学の力強い持続可能な礎が築けると確信しています。

## 「室体制」によるガバナンス

— どのような体制で取り組むのですか。

**西尾** 具体的には、「室体制」を再構築します。例えば、研究推進室、教育室、産学連携室、男女共同参画・社会学連携室、財務室など、担当の理事・副学長のもとで審議を行うグループを「室」と言います。室メンバーは、各部局の教授等で構成されますが、それぞれは自身の部局の利益者代表ではなく、全学的な立場

で審議に参加します。

取り組む課題がますます複雑になっているなかで、室間の横のつながりが重要になってきます。そこで、課題に関係する複数の室が横の連携を取りながら議論するシステムも整備しています。

## 卒業生や志願者も“阪大の構成員”

— 構成員が真価を発揮するとは、どのようなイメージでしょう。

**西尾** 学生達に対して「大阪大学で学ぶことが本当に楽しくて仕方ない。大阪大学に来て学んで良かった」という環境を実現できれば、学生は十分に力を発揮するでしょう。教員・職員も「大阪大学で働いて本当に良かった。ここに来たからこそ、大学に温かく包み込まれ、やる気を持って力を発揮できる」と感じる大学であることが大阪大学の力となります。

構成員一人ひとりが大阪大学を誇りに思う大学にすることができるか。これこそが、私が掲げる目標を達成する上での一番大事なファクターになると考えます。

— その構成員の中に卒業生も入れてもらいたいですね。

**西尾** 私は、卒業生も重要視しています。私にとっての構成員



は、現在大学に在籍する教員・職員・学生ではありません。当然のことながら、大阪大学を卒業あるいは退職した人たちも構成員です。さらに私が含めたいのは、大阪大学を目指している「未来の構成員」の人たちです。そういうさまざまな立場の方々も含めて、私は構成員だと考えています。

## 「教育の阪大」としての人材育成

——大阪大学が取り組む教育について教えてください。

**西尾** 大阪大学は、国立大学法人化直後に「教育の阪大」と評されたことがあります。これは、文部科学省の「魅力ある大学院教育」イニシアティブなどに、本学からの申請プログラムが多数採択されたからです。その要因は、本学が「教養・デザイン力・国際性」という教育目標のもとで、教育改革・人材育成改革を既に始めていたことにあります。

そこで、今後の教育の取り組みとして、まず、教育目標に掲げた三つの項目を強化します。最初に、「教養」においては高度教養教育をさらに充実していきたい。最先端のサイエンスやテクノロジーの成果をシーズに、どのようにイノベーションを創起していくかを総合的に考える観点からも高度教養教育の重要度が高

くなることは必至です。

次に「デザイン力」ですが、デザインという言葉には、芸術系の意味もありますが、突き詰めると、デザイン力とは「ある課題に直面した時に、与えられた環境、与えられた拘束条件のもとで最適の解に導く問題解決能力」だと思っています。このような意味でのデザイン力は、教育研究機関、産業界、官庁をはじめどの分野でも必須だと考えます。

「国際性」に関しては、6年後にはもう当たり前になっているかもしれないと期待していますが、「所信表明書」(p.9参照)の中の5項目の中には「キャンパスのグローバル化の推進」というテーマを入れました。

これは、キャンパス全体のグローバル化をどう進めるかということであり、「大阪大学が有する優れた語学、文化・社会・国際教育基盤の強化」、「世界共通語としての英語能力の向上支援」などを実現していく必要があります。

特に、本学では日本語を含め25言語の教育研究をしています。「言語」は「文化」そのものと考えられますので、国際性の涵養には大きなメリットです。そのような優位性を十分に活かしながら、国籍、民族、言語・文化、宗教などの違いを越えて、キャンパス全体がオープン

ンな空間となることを実現していきます。

私は、教育目標の「教養・デザイン力・国際性」に加えて、コミュニケーション能力を備えた人材の育成を目指していきます。最近、この能力がますます重要になってきていると考えるからです。

### 「グローバル化」のめざすところ

—キャンパスのグローバル化によって、どのような人材が育成されるのでしょうか。

**西尾** グローバルとローカルを組み合わせた「グローバル」という言葉があります。一時かなり流行した言葉ですが、身をもってこれを実行することは容易ではありません。だからこそ、この言葉を体現するような学生を育てたいのです。

例えば、今日は国内の山間部に溶け込み住民とコミュニケーションを取り、住民に信頼されて調査・研究をしているかと思えば、明日はニューヨークでの国際会議の檜舞台で発表するといった、地域に根差した視点を持ちつつ世界も視野に入れるような学生、つまり、大阪大学のモットーである「地域に生き世界に伸びる」を地で行くような学生のことで

単にグローバルだけというのは、

上滑りの感じがしています。このような理想とする人材像にとって、「コミュニケーション力」及び「国際性」がいかに重要かは容易にご理解いただけるとと思います。

### 「研究の阪大」のさらなる強化

—研究の面ではどうでしょうか。

**西尾** 大阪大学は「研究の阪大」とも呼ばれています。その卓越した研究力を「真髄を究めた基礎研究は、自然と応用に繋がる」という信念のもとでさらに強化していきます。

近年、基盤的経費が減っていく中で基礎研究の推進が難しくなっております。その打開策として、互恵関係のもとで外部機関をキャンパス内に呼び込み、共同研究を推進する方策が非常に重要と考えます。その際、「すぐに役立つ」ではなく、真髄を究めた基礎研究に対して、どれだけ外部機関が理解を示してくださり、共同研究を進められるかが課題です。

例えば、私が理事・副学長を務めておりました時に、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）との共同研究拠点として「脳情報通信融合研究センター（CiNeT）」が学内に開設されましたが、それは一つの成功例と言えます。そのような拠点形成を産業界へと展開していくこと



が求められます。

大阪大学には、共同研究の仕組みに関して、全国の大学の先陣を切って推進している幾つかの仕組みがあり、大変好評を得ております。その一つが、共同研究講座、さらにその規模を拡大した協働研究所です。それらにおいては、設定課題に関するエース級の研究者・開発者が企業と大学から対等の立場で参画し、共同研究の組織（講座あるいは研究所）をキャンパス内に立ち上げ、該当課題の解決を数年間にわたって推進するものです。その講座の運営経費や研究推進経費は企業が負担します。

現在、共同研究講座が35、協働研究所が7つあり、特に共同研究講座の数は従来の寄附講座の数を上回っています。素晴らしいことに、異なる企業の研究開発者がキャンパス内で出会い、お互いに情報交換する過程で、オープンイノベーションが起こった事例も出てきております。このような本学が誇る産業界との共同研究の枠組みを基礎研究推進のためにも強化・発展させていきます。——これまでの取り組みをさらに発展させるということですね。

**西尾** 「新たな科学の方法論への先導的な取り組み」も大事な取り組み



になります。

「ビッグデータ」という言葉は、現在、流行語のようになっていますが、ビッグデータに基づいた新たな科学の方法論として「データ科学」が非常に重要になってきています。「データセントリックサイエンス（データ中心科学）」、「e-サイエンス」とも言いますが、これは、観測や実験のプロセスなどで得られたビッグデータを蓄積し、それらを有効に活かした新たな知の発見、あるいは研究プロセスの効率化を図るものであり、科学を進展させる新たな潮流になりつつあります。私は、大阪大学をそのメッカにしたいと考えています。

たとえば、学内でさまざまな分野の研究プロセスで得られたデータを学内のしかるべきサーバシステムにすべて集約し、各研究者が自身と異

なる分野のデータとクロスさせることによって、自分の分野だけでは導けない新たな知の創出が可能になります。本学が、全国に先駆けてこのような新たな科学の方法論を展開するリーダーシップを取っていかれたらと考えています。

## 6年間の財政ビジョンを作る

——研究費もそうですが、厳しい財政の中で考えていることはありますか。

**西尾** 大学の財務は、どちらかというと単年度ベースですが、私は長期的な財政運営ができる仕掛けとして第三期中期目標・中期計画と連動する6年間を通しての財政ビジョンを作っていきたいと考えています。

これまでも研究所・センター群から「毎年平均的に経費が配分されるよりも、めりはりがあるほうが大型設備などを購入しやすい」という声が出ています。そのような仕組みをいかにうまく組み込んだ予算配分をしていくかは、非常に大きな課題です。

## 夢は、快適な「アンビエント社会」

——先生の研究者としての夢を聞かせてください。

**西尾** 夢として、情報科学分野の技

術を総結集した究極の情報化社会の実現があります。それは、「アンビエント社会」あるいは「アンビエント情報社会」と呼ばれるものです。

アンビエントとは「周りの、取り巻く」というような意味ですが、私は、「第三の情報通信技術 (ICT) 革命はアンビエント社会の実現である」と言ってきました。その社会では、自らが情報にアクセスしたり、情報検索をしたりはしません。周りの情報環境が、その人がもっとも必要としている情報、さらにはその人にとって快適な住居空間などが提供されます。

例えば、私がリビングルームのソファに座ると、自動的に空調が私にとっての適温にセットされ、私の見たいテレビ番組が目の前に映し出される、というような具合です。実は、このような技術は現在までにある程度実現されています。

このように、周りが「あなただから、今だから、ここだから」というサービスを実用化する。これが、ICT分野の究極の技術だと思っています。

ただし、このような技術が本当に人間を幸せにするかどうかということは、一方で真剣に考える必要があります。その観点からも人文学・社会科学分野との融合研究が重要であると考えております。

## ◎「(総長選挙) 所信表明書」の柱

「6年間で力強い礎を築く—1人ひとりの『真価』を阪大の『進化』に—」

1. キャンパスのグローバル化の推進
  - ・大阪大学が有する優れた語学、文化・社会・国際教育基盤の強化
  - ・カリキュラムの体系化・構造化
  - ・世界共通語としての英語能力の向上支援
  - ・教育体制に関する部局との合意形成と連携の重視
  - ・大学ランキング向上への地道な取り組み
2. 「教育の阪大」の特色を活かした人材育成
  - ・「教育の阪大」としてのポテンシャルを活かした人材育成
  - ・産学・社学連携による「協創の場」を介した人材育成
  - ・プログラム間の相互連携とシナジー効果の実現
3. 「研究の阪大」のマルチ展開の促進
  - ・総合性を重視した学術研究の推進
  - ・世界最高水準の研究拠点の拡大
  - ・産業界・省庁・財団等との戦略的な協働による最先端研究の推進
  - ・多様性の集結と学内ネットワークの構築
  - ・新たな科学の方法論への先導的な取り組み
4. 構成員との協調による課題解決
  - ・構成員との双方向の意見交換システムの拡充
  - ・本部のハブ化による意思疎通の強化
  - ・意思決定システム再構築
  - ・「部局創生」による大学の強化
5. 財政ビジョン策定のもとでの柔軟な財務運用
  - ・第3期中期目標期間を通じた財政ビジョンの策定
  - ・運営費交付金・競争的研究費改革を大学強化につなげる工夫
  - ・安定的な自主財源の確保への努力

## 大阪大学との深い縁と学生気質

——西尾先生は大阪大学との縁をどのように思われますか。

**西尾** 私は京都大学で学びましたが、指導教授の長谷川利治先生は大阪大学の工学部通信工学科のご卒業です。研究室の助手をお務めだった宮原秀夫先生も大阪大学のご出身で、後に大阪大学に戻られ、第15代の総長になりました。

また、私の郷里の岐阜県の国府町（現高山市）は、第9代総長の釜洞醇太郎先生が幼いころ住んでおられたところです。そのようなわけで、私は大阪大学に大変深い縁を感じております。

——西尾先生は京都大学と大阪大学の両方をご存じだと思いますが、何か違いを感じますか。

**西尾** 京都大学と大阪大学の違いを問われると答えるのがなかなか難しいのですが、学生との付き合いの中で感じるがありました。京都大学にいたときの研究室の学生は、あることを提案すると、「先生、それを行なうことにどのような意義があるのですか」という疑問から始まります。それに対して、大阪大学の学生は、私が提案したことに興味をもつと「先生、一緒に進めましょう」という雰囲気になり、実際に成し遂げてしまいます。私は、その前向き

な姿勢と実行力が非常にうれしかったですね。

——本日はお忙しいところ、貴重なお話をうかがいましてありがとうございます。



## [インタビュー後記]

大阪大学をはじめ国立七大学は、文部科学省の「スーパーグローバル大学（SGU）タイプA」に採択されています。今回のインタビューでは、西尾総長のお考えそのものを聞きたかったので、SGUの実現性などにはあまり触れませんでした。SGUで示した本質的な内容はしっかりと議論しながら、そのインプリメンテーションは私なりのガバナンスの考え方で遂行していく」と明言されました。構成員の力を信じて合意形成を図り、世界屈指の研究型総合大学を目指すという決意を感じました。

（聞き手：学士会事務局長 渡辺幸重）

開催日 2015年4月18日(土)

会場 中央電気倶楽部(大阪市)

## 「新興感染症の脅威と現代世界 —グローバルな感染症の今後—

みつやま まさお  
光山 正雄

京都大学大学院総合生存学館(思修館)  
専任特定教授/副館長



### ● PROFILE ●

1973年九州大学医学部卒業。同年より九州大学温泉治療学研究所附属病院(気候内科)勤務。'76年より同医学部細菌学講座。'81年ハーバード大学医学部留学。'98年京都大学大学院医学研究科感染・免疫学講座微生物感染症学教授。附属医学教育推進センター長、医学研究科長・医学部長を歴任。2013年定年退職、京都大学名誉教授、京都大学大学院総合生存学館(思修館)専任特定教授。2014年より副館長(併任)。  
第35回小島三郎記念文化賞(平成12年10月)受賞。平成21年日本細菌学会浅川賞(平成21年3月)受賞。

### 「感染症」は今も世界の人々の死因第1位である

私は思修館で「グローバル感染症学」という科目を担当し、「感染症は、気候変動、水、食糧、エネルギー、貧困とテロ、人口爆発などと並ぶGlobal Issueである。何故か」について講義をしています。

WHOが疾病や健康課題に関して一般市民向けに公開している「ファクトシート」によると、世界の人々の死亡原因は、①虚血性心疾患(心臓病など)、②脳卒中・脳血管障害、

③<sup>かきどろ</sup>下気道感染症(インフルエンザ、肺炎など)、④慢性閉塞性肺疾患(主に煙草が原因)、⑤下痢性疾患(コレラ、腸チフス、赤痢、病原性大腸菌などの感染)、⑥エイズ、⑦呼吸器系癌、⑧結核、⑨糖尿病、⑩交通事故、という順番です(WHO, Fact Sheet #310, June 2011)。このうち③⑤⑥⑧は、細菌やウイルスによる感染症で、足し合わせると全体の15.9%を占め、①の虚血性心

疾患（12.8%）を上回ります。つまり、感染症は今も世界の人々の死因第1位なのです。

次に、日本人の死亡原因は、①悪性新生物（癌）、②心疾患、③脳血管障害、④肺炎、⑤不慮の事故、⑥自殺、⑦肝疾患、⑧結核、という順番です（2011年）。ただし、④については、糖尿病、肝硬変、癌などの患者が肺炎を併発して亡くなるケースが多く、健康な人がいきなり肺炎に罹って亡くなるのは稀です。⑧については、終戦後しばらく結核は日本人の死因第1位でした。現在でも毎年約2~2.5万人の新規結核患者が出ていることはあまり知られていません。

ここで、「日本における感染症の年間発生数」（国立感染症情報センター2011）を見ると、①インフル

エンザ（136万人）、②感染性胃腸炎（98.4万人）、③手足口病（34.7万人）、④A群レンサ球菌感染症（26.5万人）、⑤水痘（23.9万人）、⑥おたふく風邪（13.7万人）、です。それ以外は発生数が少なく、結核（3.1万人）、百日咳（4,400人）、HIV（1535人）、梅毒（857人）、レジオネラ症（818人）、麻疹（439人）、風疹（378人）、A型肝炎（176人）、破傷風（118人）、などがあります。かつて猛威を振るった細菌性赤痢（300人）、腸チフス（21人）もわずかに発生しています。最近では、O-157（3,940人）、デング熱（113人）が話題です。

感染症は「予防接種などで治療可能」というイメージが強いですが、世界でも国内でも、くすぶり続ける火種のような存在なのです。

## 歴史上の重大感染症から学ぶこと

### ①ペスト（黒死病）

1894年、香港でペストが大発生した時、北里柴三郎とエルサン（フランス人の細菌学者）は、ほぼ同時に、それぞれ別個にペスト菌を発見しました。しかし、エルサンの発表の方がわずかに早かったため、ペスト菌は「エルシニア・ペスティス」と名付けられました。

ペストは14世紀に欧州で大発生しました。当時の世界人口（約1億

人）の3分の1がペストで死んだと言われています。それを描いた有名な絵が、ブリュゲルの「死の勝利」（プラド美術館所蔵）です（写真1）。悪魔や骸骨が次々と人を襲い、戮り殺しにしている怖い絵です。

写真2は、ペストを診る医者です。当時まだバクテリアやウイルスは発見されておらず、「病気は患者の口から出るミアスマ（“悪い空気”、瘴気）を吸うと感染する」と信じら

れていたもので、嘴の部分に葉や香料を詰めたマスクを被り、瘴気を吸い込まないようにしていました。

写真3は「ヴェニス海上のラザレット・ベッキオ島で、大量の人骨が発見された」という写真です（『NATIONAL GEOGRAPHIC』2007）。

ヴェニスはラグーンの上でできた町で、中世に貿易と商業で大いに栄えた都市です。世界各地と交易し、ヒトやモノの出入りが激しかったため、15世紀にペストが大発生した時、外から来た人が“悪い空気”を町に持ち込まないように、島に検疫所を設置し、彼らを一定期間留め置いたようです。発掘された大量の人骨は、検疫期間中にペストを発症して死んだ人たちのなのでしょう。検疫所のことを英語で「ラザレット」というのも、世界で初めて検閲所ができたこの島の名に由来しているのかもしれない。ちなみに、検疫のことを「クアランティン」というのは、イタリア語で40を意味するクアラントに由来し、「40日間留め置き、発症しなかったら町に入れてよい」というルールが語源です。

重要なのは、「当時の人々は感染症の拡大を防ぐために、検



（写真1＝上、写真2＝中、写真3＝下）



疫という方法を経験的に知っていた。病気の潜伏期間も考慮していた」ということです。今の時代、もう一度検疫を見直すべきだと思います。

## ②天然痘

天然痘は、人類が根絶できた唯一の感染症です。大変怖い病気で、かつては罹った人はほぼ死にました。ごく稀に助かる人もいましたが、この病気に罹ると必ず痘疱とうぼうが出るので、痘痕あばたとして残りました。

インド発祥で、紀元前 12 世紀のエジプトのラムセス 5 世のミイラにも痘痕があります。11～12 世紀に十字軍遠征で欧州全土に広がりました。1755～63 年、北米フレンチ・インディアン戦争では、イギリス軍が天然痘患者の毛布をインディアンに贈り、「世界初の生物兵器の使用例」と言われています。1770 年にはインドで 300 万人が死亡、1950 年には世界で 5000 万人が感染し、30% が亡くなっています（世界人口は 25 億人）。

日本には 8 世紀に渡来し、925

年に醍醐天皇が感染しています。17 世紀には 4 回の大流行がありました。明治時代に 3 回、大正時代にも 1 回流行しました。ただし死者は、3.2 万人、2.4 万人、1.6 万人、938 人、と減少しています。1946 年には引揚者の増加で再流行し、死者は 3,000 人に上りましたが、1955 年の発症者 1 名を最後に、天然痘患者はゼロになりました。1976 年、日本では種痘の定期接種が廃止されました。

種痘の歴史を見ると、早くから「天然痘は一度罹ると、二度と罹らない」と経験的に知られていたため、例えばトルコの古い文献には、人痘（針に糸を通し、天然痘患者の痘疱を刺し貫き、糸に内容物をつける。それを健康な人の皮膚に傷をつけ、傷口にそれを塗り付ける方法）が記されています。人痘接種を受けると初期症状は出ますが、穏やかで、回復後は二度と罹らなかつたと言います。しかし、約 2% の人は重症化して命を落としました。このやり方





は1717年にトルコからイギリスに伝わり、1777年にはアメリカでも導入されました。

日本では1790年に佐賀の藩医が人痘（痘疱を乾燥させて粉末にし、銀管を使って健康な人の鼻の穴に吹き込む方法）を試しています。ただし、吹き込み方の巧い下手で結果に差があったようです。

1798年、ジェンナーが牛痘接種を始めます。牛痘は牛だけでなく人も罹りますが、人が罹っても症状は軽く、痘痕も残らず、再罹患しません。そこでジェンナーは牛痘接種を使用人の子で試し、安全を確かめてから自分の息子に施しました。この方法は非常に有効で安全性が高かったため、あっという間に世界に広がりました。

幕末日本にも出島を通して伝わりました。1849年、佐賀の蘭方医が出島のオランダ人医師の協力を得て、日本で初めて種痘を実施しました。京都では蘭方医の日野鼎哉が種痘所を設立し、大阪でも適塾の緒方洪庵が除痘館（阪大医学部の前身）を設立しました。翌1850年、福井では町医者が京都で入手した痘苗を、雪深い峠を越えて命がけで持ち帰りました<sup>1</sup>。1858年には江戸では佐賀の蘭方医がお玉ヶ池に種痘所（東大医学部の前身）を設立しました。このように、日本の近代医学の始まりは殆どが種痘所でした。

次に、「WHOによる天然痘根絶作戦」の話をしていきましょう。1966年、WHOは世界中にボランティアを差し向け、徹底的に種痘して回る作戦を開始しました。この作戦の指揮を途中から引き継いだのは、蟻田功先生（WHO世界天然痘根絶対策部長。後に国立熊本病院院長）です。1977年10月にソマリアでみられた患者が最後の天然痘患者であることが確認されるに至り、1980年、WHOは天然痘の根絶を宣言しました。

では何故、天然痘は根絶できたのに、他の感染症は根絶できないのでしょうか？ それは天然痘が、①症状が明瞭でヒト以外に宿主がない（野生動物や渡り鳥も感染する場合、撲滅は困難）、②不顕性感染（感染しているのに症状が現れない状態）がなく、感染患者の発見が容易である、③潜伏期がやや長く一定である（7～14日）、④潜伏感染しない（回復後も病原体が体内に潜伏し、再活性化しない）、⑤種痘による予防効果が非常に高い、⑥一つの安定した血清型（病原体の型が一つしかない上、変異しにくい）、だったからです。

### ③マラリア

マラリアは今も毎年65.5万人が亡くなり、そのうち20万人は新生児、1万人はその母親です。マラリアは今の地球上の感染症のなかでも最重要課題です。

マラリア (malaria) の語源を探ると、mal は bad、aria は air で、「悪い空気」という意味です。先程のミアスマ (瘴気、悪い空気) と同じです。当時の人々は蚊が媒介するとは知らなかったのです。

マラリアはハマダラカという蚊が媒介して感染します。刺されると、マラリア原虫という単細胞の寄生虫が赤血球に寄生してこれを破壊し、数日おきに高熱が出ます。3日おきなら三日熱マラリア、4日なら四日熱マラリアと言います。感染症を媒介する昆虫を根絶できれば、ワクチンがなくても、マラリアは根絶できるかもしれません。

マラリアの発生地域は亜熱帯から熱帯にかけて、中国、東南アジア、インド、アラビア半島、アフリカ、中南米です。北米、西欧、ロシア、オーストラリア、日本では殆どありません。といっても日本でも、亜熱帯などを旅行した人たちを中心に、毎年 100 人前後の患者が出ます。

2014 年夏、東京で 70 人弱が次々にデング熱に感染し、代々木公園が閉鎖されるなど、大騒ぎになりました。これも同じで、おそらく東南アジアでデング熱に感染した人が帰国し、蚊 (ネッタイシマカ) がそのウイルスを媒介して感染が拡大したと考えられます。

地球温暖化によって虫の生態系が拡大し、本来日本にいなかった媒介

昆虫が生息するようになり、本来日本になかったはずの感染症 (マラリア、デング熱、ウエストナイル熱、日本脳炎……全て蚊が媒介) が日本で広がる可能性があります。2000 年頃にはニューヨーク〜カナダにおいて、本来アフリカにしかないはずのウエストナイル熱が大発生しました。飛行機によって運ばれた数匹の蚊が媒介したと考えられています。

#### ④スペイン風邪 (インフルエンザ)

1918 年、インフルエンザが日本を含めた世界中を席卷し、2,400 万人が死にました (当時の世界人口 12 億人)。それから 100 年が過ぎようという今も、私たちはインフルエンザに翻弄されています。

その最大の理由はウイルスの構造にあります。インフルエンザウイルスの特徴は、①ゲノムが DNA ではなく RNA でできているため、不安定で変化が起こりやすい、②ゲノムが 8 分節に分かれている、③ウイルスの表面に HA、NA というタンパク質でできた 2 種類の突起がある、です。

毎年冬になると、「今年のインフルエンザは H1N1 型」などと報道されますが、H と N はこれら 2 種類の突起のことです。HA (ヘマグルチニン) の突起は、ウイルスが肺の細胞に入り込む時に使われます。NA (ノイラミニダーゼ) の突起は、細胞の中で増殖したウイルスが細胞

を壊して出ていく時、細胞膜を壊すのに使われます。タミフルはインフルエンザウイルスそのものを破壊したり、増殖を抑えたりする薬ではなく、このNAの働きを阻害し、増殖したウイルスを細胞内に閉じ込め、拡散を防ぐ薬です。早めに飲まなければ効かないのはそのためです。

話を戻すと、①～③の特徴から、インフルエンザウイルスは構造に変化が起きやすく、予想外の変異株が生じやすいのです。そのため、いくらワクチンや過去の感染で免疫をつけても、不連続変異の抗原に対しては効き目がありません。インフルエンザの怖さはここにあります。

1918年（スペイン風邪）の時はH1N1型、1957年（アジア風邪）の時はH2N2型、1968年（香港風邪）の時はH3N2型、1977年（ソ連風邪）の時はH1N1型、1997年の香港での流行の時はH5N1型、2009年のメキシコでの流行はH1N1型～新型インフルエンザ（A/H1N1）、でした。

1918年のスペイン風邪流行時、インフルエンザウイルスの存在はまだ発見されていませんでしたが、後に当時の患者の死体を凍土から掘り起こし、その型が判明しました。また、1977年のソ連風邪がH1N1型の再流行であることを意外に思うかもしれませんが、60年経つと、かつて感染して免疫を付けた人の多く



が亡くなっているのです。同じタイプが再流行できたのです。

さらに近年、「鳥や豚のインフルエンザウイルスが変異を起こし、人間に感染して重篤な結果をもたらしている」と判明しました。鳥や豚が罹るインフルエンザはそれぞれ豚インフルエンザ、鳥インフルエンザと呼ばれ、人が罹るインフルエンザとは少し型が違うので、今までは「人に感染しない」と考えられてきました。ところが、1997年の香港での流行時、患者数はたった18人でしたが、そのうち6人が死亡しました。通常のインフルエンザではそんなに死にません。この病原性の高さを不審に思って調べてみると、鳥由来と判明し、香港では150万羽に及ぶ鶏類が殺処分となり、世界中でも大騒ぎになりました。

1 参考：吉村昭『雪の花』新潮社

## エボラ出血熱の大発生（2014～15）

1976年、ザイールで流行した際、エボラウイルスが初めて発見されました。重篤で致死率が高く、集団発生では致死率90%にも達します。

フルーツコウモリが自然宿主と考えられます。コウモリは多くの熱帯特有のウイルス疾患に関わっているため要注意です。とはいえ、コウモリはウイルスを持ちながら自分は死なないので、「免疫はどうなっているのか」と研究している人もいますが、まだ分かっていません。

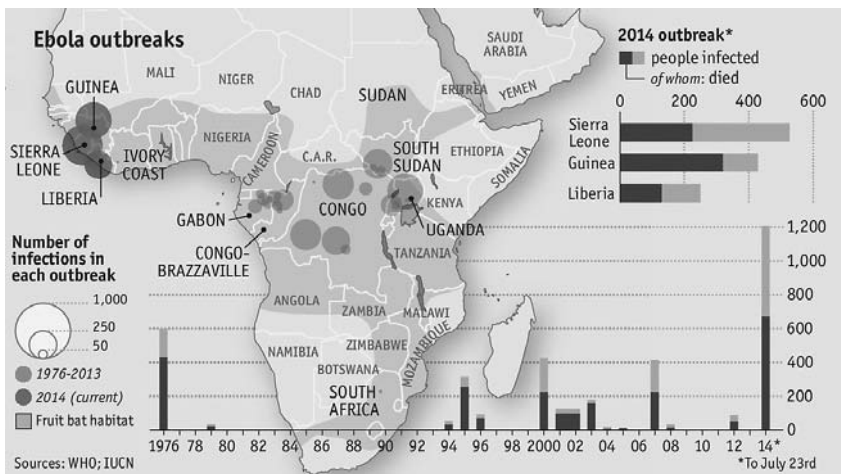
コウモリから人への感染ルートは不明ですが、人から人へは唾液や体液を介して高い確率で感染します。感染者の介護や死者の埋葬の際に感染するケースが多いようです。

潜伏期間は7日程度で、初期症状は発熱、悪寒、頭痛に加え、嘔吐、

下痢などが起こるので、コレラや赤痢と誤診されることが多いようです。その後、出血性の発疹が出て、目、耳、鼻、口、皮膚など全身から出血し、8～9割が死にます。未だ確実な治療法はありません。非常に怖い病気です。

2002年頃まではスーダン、ザイール、コンゴといった中央アフリカの村落で発生していました。最大の被害は2000～01年にウガンダでの集団発生で、患者数500人以上、死者も250人以上でした。

しかし、2014～15年に西アフリカ（ギニア、シエラレオネ、リベリア）で起こった集団発生は、被害の桁が違います。2013年12月、コウモリと接触したと疑われる最初の感染者（ギニアの2歳の男児）が



2014. 8. 2. 時点でのエボラウイルス病の発生状況 (WHO)

死ぬと、その母親、姉、祖母も死にました。その後、数十人の感染者が出ましたが、ギニア政府は国の評判が落ちるのを恐れ、事実をひた隠し、終息を待とうとした気配があります。ところがうまくいかず、2014年3月22日になってようやく「80人感染、59人死亡」と公表しました。この人為的ミスのせいでWHOの初動が遅れました。感染者はどんどん増加し、同年8月、WHOは緊急事態を宣言、翌2015年3月には感染者2万5千人、死者1万人以上にまで膨れ上がりました。治療や看

護にあたった外国人も感染し、数名が亡くなりました。

何故ここまで被害が拡大したのか、というと、①最初の封じ込めに失敗した、②現地の風習（家族を埋葬する際に遺体に触れる）が感染を増やした、③風評（エボラは白人が持ち込んだ病気。白人は俺たちの仲間を病院に隔離して殺している等）により、村人が病院を襲い、感染者を逃がす事件まで起こった、などが考えられます。これは啓蒙の問題です。なお、ワクチンの候補は幾つかありますが、確定していません。

## Global Issue としての「感染症」

現在、世界では第7次コレラ・パンデミーの最中です。結核についても、発展途上国からの労働者が罹患に気づかないまま入国し、感染を広げている場合もあり、日本でもいつ再興するか分かりません。デング熱も数十年間忘れられていましたが、2014年に突然再興しました。その一方で、多数の新興感染症（ロタウイルス胃腸炎、エボラ出血熱、HIV、レジオネラ症、SARS、鳥インフルエンザなど）が発生しています。

こうした感染症の大発生を防ぐには、a. 予防（予防接種、検疫監視、公衆衛生）、b. 媒介昆虫の駆除（殺虫剤の使用、蚊の繁殖をもたらず滞留水の除去）、c. 治療（抗菌薬剤の

開発）、などが考えられますが、それぞれ限界があります。感染症が大発生する背景には、i. ヒトやモノの移動の迅速化と巨大化（検疫・封じ込めの限界）、ii. 手つかずの地域への人間の進出、伐採、開拓の拡大（未知の野生動物との接触など）、iii. 薬剤、消毒の濫用（微生物変異、薬剤耐性病原体の出現）、iv. 気候変動、温暖化（媒介昆虫の生息域の拡大）、などがあるからです。

今までのやり方を踏襲するだけでは駄目です。私たちは「感染症」を重大な地球的課題として真剣に考え、医者だけでなく社会学者や人類学者など、あらゆる知恵を結集しなければなりません。

## 「七大戦、主管校・東北大学が三連覇」

<http://www.7-univ.jp/index.html>

学士会が特別協賛する「第54回全国七大学総合体育大会（七大戦）」はすべての競技を終え、9月26日、東北大学片平さくらホールで閉会式が行われました。今年の総合優勝は東北大学で、三連覇を果たしました。また、主管校が優勝したため、これまで6年続いていた“主管校破り”が途切れました。閉会式では総合優勝の東北大学に対して学士会から総合優勝トロフィーが贈られました。

		北海道 大学	東北 大学	東京 大学	名古屋 大学	京都 大学	大阪 大学	九州 大学
アイスホッケー		<b>1位</b>	4位	2位	3位	6位	5位	7位
スキー		4位	<b>1位</b>	2位	3位	7位	5位	6位
航空		5位	4位	<b>1位</b>	2位	3位	7位	6位
馬術		5位	<b>1位</b>	4位	3位	2位	該当団体なし	6位
柔道		2位	<b>1位</b>	5位	6位	3位	3位	6位
バスケットボール	男子	5位	2位	6位	4位	7位	<b>1位</b>	3位
	女子	3位	6位	5位	7位	<b>1位</b>	2位	4位
ヨット		6位	2位	4位	該当団体なし	3位	5位	<b>1位</b>
硬式テニス	男子	7位	3位	<b>1位</b>	2位	4位	5位	6位
	女子	3位	4位	6位	2位	5位	<b>1位</b>	該当団体なし
少林寺拳法		6位	4位	<b>1位</b>	7位	3位	2位	5位
競泳	男子	3位	5位	2位	6位	<b>1位</b>	4位	7位
	女子	3位	7位	<b>1位</b>	5位	4位	2位	6位
空手道	男子	4位	<b>1位</b>	6位	5位	2位	2位	7位
	女子	<b>1位</b>	5位	6位	7位	2位	3位	4位

		北海道 大学	東北 大学	東京 大学	名古屋 大学	京都 大学	大阪 大学	九州 大学
ラクロス	男子	4位	3位	<b>1位</b>	5位	2位	不参加	不参加
	女子	3位	<b>1位</b>	6位	5位	2位	4位	7位
剣道	男子	6位	<b>1位</b>	2位	7位	3位	5位	4位
	女子	7位	2位	5位	4位	<b>1位</b>	6位	3位
陸上競技	男子	6位	4位	2位	5位	<b>1位</b>	3位	7位
	女子	3位	4位	7位	2位	6位	<b>1位</b>	5位
バレーボール	男子	2位	<b>1位</b>	6位	4位	5位	3位	7位
	女子	4位	2位	3位	<b>1位</b>	6位	5位	7位
準硬式野球		5位	<b>1位</b>	7位	6位	3位	2位	4位
バドミントン	男子	4位	5位	6位	7位	2位	<b>1位</b>	3位
	女子	<b>1位</b>	2位	7位	6位	5位	3位	4位
硬式野球		4位	2位	<b>1位</b>	7位	5位	6位	3位
フェンシング		該当団体なし	<b>1位</b>	2位	該当団体なし	3位	4位	5位
ハンドボール		5位	6位	<b>1位</b>	4位	3位	2位	7位
ゴルフ		6位	4位	5位	2位	<b>1位</b>	7位	3位
相撲		承認団体	<b>1位</b>	2位	3位	4位	5位	該当団体なし
弓道	男子	2位	3位	6位	7位	4位	<b>1位</b>	5位
	女子	2位	6位	4位	不参加	3位	<b>1位</b>	5位
水球		該当団体なし	承認団体	<b>1位</b>	4位	5位	2位	3位
ソフトテニス	男子	5位	<b>1位</b>	6位	4位	3位	7位	2位
	女子	3位	5位	該当団体なし	<b>1位</b>	該当団体なし	4位	2位
アーチェリー		6位	2位	3位	7位	4位	<b>1位</b>	5位
ソフトボール		雨天のため競技中止 (承認団体である北海道大学以外の6大学に各1点)						
体操		4位	2位	5位	<b>1位</b>	7位	3位	6位
自動車		2位	3位	<b>1位</b>	5位	7位	6位	4位
卓球	男子	4位	該当団体なし	2位	6位	3位	<b>1位</b>	5位
	女子	6位	該当団体なし	3位	2位	5位	<b>1位</b>	4位
総合順位		5位	<b>1位</b>	3位	6位	4位	2位	7位

## 大阪大学 新総長・理事紹介

### ◎新理事が決まりました

平成 27 年 8 月 26 日



**西尾 章治郎**  
総長



**三成 賢次**  
理事・副学長  
(総合計画、評価、広報担当)



**小林 傳司**  
理事・副学長  
(教育担当)



**八木 康史**  
理事・副学長  
(研究、リスク管理担当)



**小川 哲生**  
理事・副学長  
(財務、情報担当)



**星野 俊也**  
理事・副学長  
(グローバル連携担当)



**吉川 秀樹**  
理事・副学長  
(産学連携、病院運営担当)



**工藤 眞由美**  
理事・副学長  
(男女共同参画、社会学連携担当)



**大木 高仁**  
理事  
(人事労務、事務組織担当)



## 告知

### ◎サステナビリティ・ウィーク 2015 行事

<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2015/events/>

サステナビリティ・ウィークとは、「持続可能な社会」の実現に寄与する研究と教育を推進させるために北海道大学が主催する事業で、約2週間を「サステナビリティ・ウィーク」と定め、人類が抱える諸課題をテーマにしたシンポジウムや講演会、ワークショップや展示を集約的に開催し、世界の研究者、学生、市民と共に、より良い未来のために議論を行います。

2007年に産声を上げ、毎年全学を挙げて開催しています。とりわけ研究型・総合大学としての特徴を活かし、議題はあらゆる学問分野に及び、持続可能な社会を議論するのに必要な課題をほぼ網羅しています。

#### 日程

2015年10月24日(土)から11月8日(日)  
(前後の約1ヶ月期間も対象)

2015年の詳しい行事一覧は上記URLをご参照ください。

### ◎CLARK THEATER 2015

<http://www.clarktheater.jp/>

今年で10年目を迎えるCLARK THEATER(クラークシアター)では、学生が主体となって多様なジャンルの映画を上映すると共に、映画にまつわるゲストを招待し、トークショーや特別プログラムを企画しています。

**開催日時** 11月21日(土)~23日(月)

**主催** 北大映画館プロジェクト

**会場** 北海道大学クラーク会館 大講堂

**参加費** 一部有料

## 報告

### ◎『札幌でしかできない50のこと』 (タイムアウト東京ガイドマップ シリーズ)が発行されました

[http://www.hokudai.ac.jp/news/150831\\_cats\\_pr.pdf](http://www.hokudai.ac.jp/news/150831_cats_pr.pdf)

8月31日、北海道大学観光学高等研究センターは、札幌市、タイムアウト東京株式会社と共同で新たな札幌観光を切り拓く『札幌でしかできない50のこと』を発行しました。

札幌観光の多様化や訪日外国人旅行の増加を背景に、北海道大学観光学高等研究センターは札幌市と共同で、札幌の新しい観光のあり方についての議論を行い、その成果として日本語版・英語版の各5万部を発行することとなりました。

9月4日より東京都内ほか、札幌市内の主要施設やホテル、観光案内所等で無料配布しており、WEB上(<http://www.timeout.jp>)でも公開しています。

### ◎国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)と連携協力協定を締結

<http://www.cris.hokudai.ac.jp/cris/news/info/865.html>

北海道大学と海洋研究開発機構(JAMSTEC)は9月1日、両機関の連携・協力を推進し、相互の研究開発能力及び人材を生かして総合力を発揮することにより、学術研究と教育の発展、並びに海洋科学技術の向上等に、新たな重要な役割を果たすことを目的として、連携協力協定を締結いたしました。

締結式後には第1回連携協議会、低温科学研究所等の施設見学、懇親会も行われました。

この度の連携協力協定により、相互に協力可能な全ての分野においてそれぞれ

の研究開発、教育・人材育成などの具体的な連携協力を効果的に実施していくこととしています。

### ◎第32回北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパの実施について

<http://www.hokudai.ac.jp/news/2015/09/post-366.html>

8月7日、北海道大学アイヌ納骨堂において、北海道アイヌ協会主催、北海道大学協賛による慰霊式「イチャルパ」を実施いたしました。

このイチャルパは、本学医学部が収蔵するアイヌ民族のご遺骨を供養するため、昭和59年に北海道大学アイヌ納骨堂を設置してから、毎年8月に北海道アイヌ協会の主催により実施しているものです。

当日は、山口総長、三上理事・副学長、徳久理事・事務局長、笠原医学研究科長並びに道内各地のアイヌ協会支部の皆様をはじめ関係者約150名が参列し、黙禱や献花、アイヌ民族の伝統的な儀式「カムイノミ」（神酒を神に捧げる儀式）などが行われました。

## 東 北 大 学

### 告 知

#### ◎サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン

<http://cafe.tohoku.ac.jp/index.html>

場 所 せんだいメディアテーク

時 間 18:00～19:45

※場所と時間は共通

《サイエンスカフェ》

11月27日（金）

土を考える～国際土壌年に寄せて～

《リベラルアーツサロン》

11月20日（金）

テーマ：星の王子さまから現代人へのメッセージ

#### ◎サイエンスカフェ地下鉄開業記念スペシャル：近未来の交通システム～「地方創生特区」青葉山での実証実験～

<http://cafe.tohoku.ac.jp/cafe/special/151219.html>

日 時 12月19日（土）13:30～16:00

場 所 東北大学未来科学技術共同研究センター [NICHe]

※このイベントは事前予約が必要になります。10/1より予約受付を開始しております。通常のサイエンスカフェと時間、開催場所が異なります。

### 報 告

#### ◎東北大学から THVP-1 号ファン ドへの出資金 70 億円が文部科学 大臣より認可されました

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2015/08/news20150804-02.html>

東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社（以下、「THVP」という。）が申請していた「特定研究成果活用支援事業計画（THVP-1号投資事業有限責任組合（以下、「THVP-1号ファンド」という。）、総額80億円以上、THVPが無限責任組合員）」の認定（平成27年6月26日付け、文部科学大臣・経済産業大臣）を受け、THVP-1号ファンドに対する本学からの出資金（70億円）について認可申請しておりましたところ、平成27年8月3日付けで文部科学大臣より認可されました。

#### ◎アメリカ・ケースウェスタンリザ ーブ大学と大学間学術交流協定を 締結

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2015/08/news20150804-01.html>

7月29日、本学・里見進総長とケースウェスタンリザーブ大学・Barbara Snyder学長との間で、大学間学術交流

協定が締結されました。

ケースウェスタンリザーブ大学は、1967年に創立された工科大総合大学です。医療や生命情報学等の分野で顕著な功績があり、教育面ではデータ科学を半必修化しており、研究面では医療分野への応用が先端的であると知られています。卒業生には16名のノーベル賞受賞者がおり、アメリカの教育・文化面においてきわめて重要な役割を担っています。

本協定の締結により、スーパーグローバル大学創成支援事業におけるデータ科学国際共同大学院設立に向けて連携を図ると同時に、データ科学分野の研究・教育についての協力が進むことが期待されます。

### ◎減災教育事業「減災ポケット『結』プロジェクト」～福島県の小学校で公開出前授業を行いました～

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2015/07/news20150713-01.html>

7月7日、福島県郡山市立芳賀小学校において、減災教育事業「減災ポケット『結』プロジェクト」の公開出前授業を行いました。

減災教育事業「減災ポケット『結』プロジェクト」は、減災についての知識を深めるためのツールとして開発したハン

カチを小学5年生全児童に教材として配付し、これを活用した出前授業を行うもので、昨年度より宮城県を対象に行ってきました。

今年度は対象を福島県の小学5年生全児童に拡大し、それに伴って公開出前授業を行ったものです。

### ◎アメリカ・カリフォルニア大学東京スタディセンター Miriam Wattles センター長一行来訪

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2015/08/news20150821-01.html>

8月6日、カリフォルニア大学(UC)東京スタディセンターより Miriam Wattles センター長が植木俊哉理事、花輪公雄理事を訪問し、本学との教育交流について意見交換を行うとともに、本学とUCとの大学間学術交流協定更新に係る協定書に植木理事が署名しました。

カリフォルニア大学はカリフォルニア州オークランドに本部を置き、10校のキャンパス(パークレー校、デービス校、アーヴィン校、ロスアンゼルス校、リバーサイド校、サンディエゴ校、サンフランシスコ校、サンタバーバラ校、サンタクルス校、マーセド校)を有する研究重視の州立大学群として知られています。

本協定の更新により、更なる交流の深化が期待されます。

## 東京大学

### 告知

### ◎健康と医学の博物館 第9回企画展「大腸のふしぎ」を開催中

<http://mhm.m.u-tokyo.ac.jp/>

第9回企画展では、大腸の構造や機能を、映像や模型を使って紹介します。また、多岐に渡る大腸を診る方法も展示します。その中で、大腸がん検診の重要性も取り上げます。

期間 開催中～2016年2月21日

場所 東京大学医学部・医学部附属病院健康と医学の博物館

### ◎農学部公開セミナー

<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/seminar/>

農学部では、6月と11月の土曜日の午後、農学部公開セミナーを開催しています。農学部で行われている最先端の研究を一般の方にわかりやすく解説します。

ふだんの生活に密着した話題や産業へ

の応用など、社会との関わりを重視する農学部ならではのテーマも取り上げます。興味のある方は、ぜひお気軽に参加してみてください。入学先、進学先として農学部・農学生命科学研究科を考えている方も大歓迎です。参加料は無料、事前登録の必要もありません。

第49回農学部公開セミナーは11月14日(土)に開催予定です。詳細は、上記URLでご確認ください。

## 報告

### ◎ケネディ駐日大使とゴッテモラー 米国務次官が東大を訪問しました

[http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics\\_z1304\\_00014.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics_z1304_00014.html)

8月7日、キャロライン・ケネディ駐日米国大使およびローズ・ゴッテモラー米国務次官が東京大学の本郷地区弥生キャンパスを訪問し、STEM教育と女性の教育をテーマにした討論会に参加しました。東京大学からは生産技術研究所の大島まり教授(情報学専兼任)および13名の学生が討論会に参加しました。

ゴッテモラー国務次官は女性支援政策という点に関して、米国では教育法の第9条(1972年改正)が女子学生のSTEM教育を推進していく上で大きな役割を果たしたことを述べ、ケネディ大使が、この教育法第9条改正の提案者の1人が日系アメリカ人として初めての女性下院議員パッツィ・タケモト・ミンクだったことを討論会に参加した東大の学生たちに紹介し、「つまり、私たち米国政

府はあなた方すべてに大きな期待を寄せている」と学生を奨励し、討論会の幕が閉じました。

### ◎北京大学(戦略的パートナーシップ協定校)幹部職員研修の実施

[http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics\\_z0502\\_00009.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics_z0502_00009.html)

7月27日、28日の2日間、戦略的パートナーシップを締結している北京大学から20名の幹部職員(学院、事務部の副院長等中堅幹部)が本郷キャンパスを訪問し、幹部職員研修を受講しました。

北京大学は2013年から米国、シンガポールなどのトップ大学に幹部職員を派遣し、海外大学の組織、管理運営について学ぶ幹部人材育成を目的とした研修を実施しています。

今回の本学での研修では、戦略的パートナーシップ構築プロジェクトを推進する各部局長や担当教員との懇談会、国際本部の教員による国際戦略についての講演、本部及び部局の事務長による事務組織の説明、担当教員による学生サポート、キャンパスの安全衛生に関する講演などが行われ、受講者は、本学の組織や制度、管理運営についての知識を深め、活発な質疑応答も交わされました。

本学では、この度の北京大学の幹部職員研修を皮切りに、戦略的パートナーシップ相手校との間の特別な絆を活用した事務職員の交流を活発化させ、大学の一層のグローバル化を進めていきます。

## 名古屋大学

### 告知

### ◎名古屋大学オープンカレッジ「自由奔放!サイエンス—知識・博学への挑戦」

<http://www-oc.soec.nagoya-u.ac.jp/>

名古屋大学大学院経済学研究科エクス

テンション・サービス主催、(一社)キタン会(名古屋大学経済学部同窓会)後援の名古屋大学オープンカレッジを開催、中高生から一般の方まで受講できます。

第1回は11月7日(土)。他、7講演。詳細は上記URLを参照ください。

## ◎一般相対性理論誕生 100 年記念 市民講演会

[http://www.kmi.nagoya-u.ac.jp/jpn/  
events/20151121\\_public\\_lecture.php](http://www.kmi.nagoya-u.ac.jp/jpn/events/20151121_public_lecture.php)

アインシュタインの一般相対性理論が  
11月25日に生誕100年を迎えます。宇  
宙の拡張とブラックホールの存在の予言  
への支持と、一方、暗黒エネルギーや暗  
黒物質の正体の謎など数々抱える大問題。  
時空理論とその周辺の研究歴史、展開、  
最前線に触れてみませんか？

**日時** 11月21日(土) 13:00~16:35

**場所** 名古屋大学理学南館 坂田・平田  
ホール

**定員** 300名(当日先着順となっています。  
事前申込は必要ありません)

## ◎名古屋大学博物館野外観察園見学 会

[http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/  
garden/2014/141112.html](http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/garden/2014/141112.html)

季節の花を見ながら自然を学ぶイベン  
トで電子顕微鏡観察も行います。持ち  
物・服装など、詳しくはURLをご覧く  
ださい。

**日時** 11月28日(土)

13:00~14:00 観察園見学

14:00~15:00 電子顕微鏡観察  
(抽選で20名まで)

**会場** 名古屋大学博物館野外観察園(現  
地集合)

## ◎ミクロの世界をのぞいて放散虫の 進化に触れよう！—電子顕微鏡の ふしぎ

[http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/  
micro/2015/151219.html](http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/micro/2015/151219.html)

**日時** 12月19日(土) 13:00~16:00

**場所** 名古屋大学博物館 ※雨天決行

**対象・定員** 小学校5年生~大人 22名

**参加費** 500円(保険料等含む)

※要申込み(詳細はURL参照)

## 報告

## ◎“名古屋大学を世界屈指の研究大学 に”名古屋大学松尾イニシアティ ブ NU MIRAI 2020 が発表され ました

[http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/  
upload\\_images/numirai2020\\_detail.pdf](http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/<br/>upload_images/numirai2020_detail.pdf)

## ◎東山キャンパスが優良エコ事業所 認定を受けました

[http://www.nagoya-u.ac.jp/info/post\\_  
24.html](http://www.nagoya-u.ac.jp/info/post_<br/>24.html)

名古屋大学東山キャンパスは名古屋市  
の認定するエコ事業所認定制度において、  
平成24年度に初めて「優良エコ事業所」  
として認定を受けており、今回、更新認定  
を受けました。この制度は、名古屋市が  
環境に配慮した取り組みを積極的に実施  
している事業所を取り組みのレベルに応  
じて「エコ事業所」、「優良エコ事業所」  
の2段階で認定し、その取り組みを支援  
するものです。

今回の認定を受け、今後さらに環境に  
配慮した取り組み・キャンパス作りを推  
進していきます。

## ◎名古屋大学が 2015 年世界大学 学術ランキング (ARWU) にお いて 77 位 (国内 3 位) にラン クされました

[http://www.nagoya-u.ac.jp/info/  
2015arwu773.html](http://www.nagoya-u.ac.jp/info/<br/>2015arwu773.html)

上海交通大学による2015年の世界大  
学学術ランキング (ARWU) が発表にな  
り、名古屋大学は77位(国内3位)に  
ランクされました。

世界大学学術ランキング:

[http://www.shanghai ranking.com/ja/  
ARWU2015.html](http://www.shanghai ranking.com/ja/<br/>ARWU2015.html)

分野別ランキング:

[http://www.shanghai ranking.com/ja/  
World-University-Rankings/Nagoya-  
University.html](http://www.shanghai ranking.com/ja/<br/>World-University-Rankings/Nagoya-<br/>University.html)

## 京都大学

### 告知

#### ◎京大ウィークス 2015

■火山研究センター登録有形文化財記念  
講演会・所内公開

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events\\_news/office/soumu/shogai/event/2015/151107\\_1111.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/event/2015/151107_1111.html)

・講演会 11月6日(金)14:00~16:30

場所 熊本県南阿蘇村長陽体育館(熊本  
県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽 3535)

・所内公開 11月7日(土)10:00~15:00

場所 理学研究科火山研究センター(熊  
本県南阿蘇村河陽 5280)

■潮岬風力実験所気象観測の実体験

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events\\_news/office/soumu/shogai/event/2015/151107\\_1112.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/event/2015/151107_1112.html)

日時 11月7日(土)10:00~12:00

場所 防災研究所潮岬風力実験所(和歌山  
県東牟婁郡串本町潮岬 3349-134)

#### ◎第10回京都大学ホームカミング デイ

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events\\_news/office/soumu/shogai/event/2015/151107\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/office/soumu/shogai/event/2015/151107_1.html)

京都大学同窓会が発足して10年目を  
迎え、節目となる第10回京都大学ホ  
ムカミングデイを学部・研究科等の同窓  
会および地域同窓会との連携協力により、  
2015年11月7日(土)に「心」をテ  
ーマとして開催します。

#### ◎女子高生・車座フォーラム 2015

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events\\_news/office/soumu/jinji/events/2015/151226\\_1502.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/jinji/events/2015/151226_1502.html)

京都大学がどんなところなのか、大学  
ではどんな勉強や研究をするのか、また  
大学卒業後の進路にはどんなものがある  
のか、など、色々な疑問をお持ちの皆さ

ん、本学の企画する「女子高生・車座フ  
ォーラム」にいらっしやいませんか?

日時 12月26日(土)10:00~17:00

場所 医学部附属病院臨床講堂

対象 女子高校生およびその保護者

定員 女子高校生 80名程度(先着順)、  
保護者 40名程度

申し込み 男女共同参画推進センターホ  
ムページ

<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

申し込み締め切り 11月25日(水)

#### ◎東京オフィスの移転について

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events\\_news/office/soumu/shogai/news/2015/150907\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/office/soumu/shogai/news/2015/150907_1.html)

本学では、東京オフィスを東京駅周辺  
に移転することになりました。つきまし  
ては、現オフィス(品川)の施設使用申  
請にかかる予約受付は、2016年3月31  
日の使用分をもって終了させていただきます  
ので、あらかじめお知らせします。

### 報告

#### ◎【ついに、新しい総長グッズが完 成しましたっ!】

<https://www.facebook.com/Kyoto.Univ/posts/2021242004683628>

「新しい総長グッズを作ろう!」と、  
山極総長のアイデアをベースに、学生プ  
ロジェクトメンバーで検討を重ねること  
約8ヶ月。ついに新しいグッズ3種が完  
成しました。

■「京大野帳」

山極総長の“大学はジャングルだ”か  
ら生まれたグッズ。フィールドワーカー  
の必需品である「野帳」に、京大ならで  
はのおもしろコンテンツを盛り込みまし  
た。これを手に、京大を探検してみても  
いいかがですか?

## ■「京大×聖護院八ッ橋」

聖護院八ッ橋総本店とコラボし、京大のキャンパス・京大生の生活の日常の“あるあるネタ”を八ッ橋そのものにも印字したオリジナル八ッ橋を開発。「あるあるネタ」のヒミツは、筒内に入っている紙に書いてある！というおもしろい仕掛けを施しています。

## ■「ゴリラ・フロマージュ」(通称：ゴリマ)

ゴリラの腸内から発見された新種乳酸菌「ラクトバシラス・ゴリラエ」を使ったバイクドチーズケーキ。ゴリラといえどバナナ味と、ジンジャー味の2種類を楽しめます！(※ゴリラフロマージュ

は8/6から3日間で限定販売。好評であれば常時提供も検討)

## ◎本学と京都市は国際学術都市としての魅力向上に関する連携協定を締結しました。

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events\\_news/office/soumu/shogai/news/2015/150806\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/office/soumu/shogai/news/2015/150806_1.html)

8月6日、本学では国際学会の誘致や人材育成の分野等において、京都市と更なる連携を図るとともに、各種取り組みの拡充を図るため、相互に連携・協力を行う協定を締結しました。

## 大阪大学

### 告知

#### ◎サイエンスカフェ@待兼山

<http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2015/6719>

大阪大学総合学術博物館でサイエンスカフェを楽しみませんか。

**日時** 11月7日(土)～3月19日(土)  
いずれも土曜日 14:00～15:30

**会場** 総合学術博物館 待兼山修学館

**申込方法** WEBフォームまたは往復ハガキ  
申込期間は各カフェ開催日の2カ月前～1カ月前。各カフェごとに要確認  
※詳細は上記URL参照ください

#### ◎Handai-Asahi 中之島塾

<http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/handai-asahi>

「Handai-Asahi 中之島塾」は、2004年に大阪大学中之島センターが中之島の地に誕生したのを機に設けられた、朝日カルチャーセンターと大阪大学との共同講座です。朝日カルチャーセンターによる運営で、大阪大学が取り組んでいる研究の成果をわかりやすく紹介します。文化、歴史、芸術、理学、工学、医療など大阪大学が有している様々な分野の講師

が、時には旬の話題のテーマなども取り上げます。3ヶ月ごとにテーマと講師を選定し、受講生を募集しております。

講座内容や申込先は上記URLからご参照ください。

#### ◎高校生のための分子生物学実習「ジャイアントインパクト」—学びを生きる力に変える科学的キャリア教育—

<http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2015/6688>

この公開講座では、遺伝子組換え実験を通じて純粋に実験や思考を楽しみ、科学の基礎基本をしっかりと学びます。また、日本で唯一の科学的キャリア教育であり、求めるものは生きる力(zest for living)です。「いかにすれば学びを生きる力に変えることができるのか」という教育の本丸に迫ります。

**日時** 12月27日(日)～12月29日(火)

**会場** 大阪大学理学部本館

**申込期限** 12月8日(火)

**受講料** 9500円

## 報告

### ◎トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム第 3 期生に阪大から 9 名が選ばれました

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2015/201508/20150806>

官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」平成 27 年度後期（第 3 期）派遣留学生に本学学生 9 名が選ばれました。

うち 7 名の学生が、8 月 4 日に平野俊夫総長（当時）と懇談しました。

平野総長から「これから日本代表として海外で頑張ってください」と激励を受け、学生達は留学への決意を新たにしました。

### ◎西尾章治郎総長の就任挨拶が本部事務機構で行われました

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2015/08/20150827\\_01](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2015/08/20150827_01)

8 月 27 日、西尾章治郎大阪大学第 18 代総長の就任挨拶が、本部事務機構の教職員に向けて行われました。

## 九州大学

## 告知

### ◎第 68 回九大祭 開催

<http://www.kyudaisai.jp/>

日時 11 月 21 日（土）、22（日）

場所 九州大学伊都キャンパス

### ◎Go Global Japan Expo 2015 が明治大学で開催されます

<http://ggj-expo.com/expo2015/>

文部科学省と同省補助事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」に採択されている九州大学を含む 42 大学、そしてグローバル 30 及び大学の世界展開力強化事業採択大学等による合同の相談・体験イベント、「Go Global

「国立大学を取り巻く環境が一段と厳しくなるなかで、大学運営の舵取りをしていくことになる。そのためには、大学の教職員が結束して積極果敢に大学改革、業務に取り組んでいただきたい。構成員の一人ひとりの『真の価値、真価』を、阪大の『進化』(Evolution)』につなげていきたい」と、決意が述べられました。

### ◎ロイター「革新的な大学ランキング」で、阪大が国内第一位

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2015/09/20150918\\_01](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2015/09/20150918_01)

9 月 16 日、トムソン・ロイター社から、「革新的な大学ランキング」が発表され、大阪大学は世界第 18 位で国内第 1 位にランクされています。

今回初めてまとめられた「ロイター・トップ 100」は、特許の出願件数や承認件数、論文での被引用回数など 10 の項目を調査した。アジアで最も高かったのは韓国科学技術院 (KAIST) の 10 位。日本の大学は、100 校中 9 校が選ばれ、国別では米国に次いで最も数が多かった。

Japan Expo 2015」が明治大学で開催されます。

世界各国の大使館、各種試験団体、英語・キャリア教育関連団体等のブース出展や著名人によるトークセッションやワークショップ、講演会のほか、出展大学のブースでの相談会や異文化体験企画も盛りだくさん。

とびきりの刺激とモチベーションをもたらすこのイベントにぜひご参加ください。

日時 12 月 20 日（日）10:00~17:30

場所 明治大学 駿河台キャンパス（東京都千代田区神田駿河台 1-1）



## ◎『九州大学新聞』のデジタル化画像データを公開しました

[http://www.kyushu-u.ac.jp/notice/index\\_read.php?kind=&S\\_Category=N&S\\_Page=Main&S\\_View=&word=&page=&B\\_Code=6897](http://www.kyushu-u.ac.jp/notice/index_read.php?kind=&S_Category=N&S_Page=Main&S_View=&word=&page=&B_Code=6897)

大学文書館と附属図書館との共同事業として、『九州大学新聞（九州帝国大学新聞）』のデジタル化画像データを公開しました。

『九州大学新聞』は、九大法文会により昭和2年6月18日に発刊され、平成15年3月25日発行の第954号をもって休刊となりました。今回の公開作業では、初号（1927年）から第740号（1980年）までを公開しています。九大コレクションの検索窓にキーワードを入力し、記事タイトルで検索することも可能です。

問い合わせ先 附属図書館 eリソースサービス室ポジトリ係

TEL 092-642-2342

e-mail qir@jimu.kyushu-u.ac.jp

## ◎「世界に羽ばたく未来創成科学者育成プロジェクト」開校式を開催

[http://www.kyushu-u.ac.jp/topics/index\\_read.php?kind=&S\\_Category=T&S\\_Page=Main&S\\_View=&word=&page=&B\\_Code=6921](http://www.kyushu-u.ac.jp/topics/index_read.php?kind=&S_Category=T&S_Page=Main&S_View=&word=&page=&B_Code=6921)

8月22日、箱崎キャンパスの旧工学部本館にて、「世界に羽ばたく未来創成科学者育成プロジェクト（FC-SP）」の開校式および第1回交流・共通プログラムを開催しました。

本学は、科学技術振興機構（JST）が実施する「グローバルサイエンスキャンパス」事業の採択を受け、平成26年度から「世界に羽ばたく未来創成科学者育成プロジェクト」を実施しています。このプロジェクトでは、九州・山口地区を中心とした科学分野に優れた高校生を本学の理学部・工学部・芸術工学部・農学

部で受け入れ、科学研究へ早期に取り組むことにより、将来の科学技術を牽引する傑出した科学者の育成を目指すことを目的としています。

当日は開校式と第1回交流・共通プログラムが行われ、「感覚を科学する」というテーマで講演会が実施されました。味覚と嗅覚を数値化し再現するという最先端の研究に触れた受講生からは、「感覚を数値で表そうという発想に感銘した」「新しいことにチャレンジしてあきらめない勇気が必要だと思う」などの感想が寄せられ、これから約半年間の研究活動へのモチベーションを高めていました。

## ◎伊都キャンパス施設名称の選考結果

<http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/news/index.cgi#437>

伊都キャンパス施設名称の募集を行い、名称選考委員会による選考の結果、以下のとおり決定しました。

応募頂いた皆様、ご協力ありがとうございました。

### 【名称募集施設】

#### 1 理学系地区講義棟・生活支援施設

場所：WEST1号館南側

概要：講義室4室、食堂205席、カフェ、コンビニ、ファーストフード

最優秀賞「ビッグリーフ」

優秀賞「リカフェ」

#### 2 センターゾーン福利厚生施設

場所：ビッグサンド南側

概要：店舗（書籍、文房具類、旅行取扱、食品）

備考：九州大学生協同組合からの寄附建物

最優秀賞「皎皎舎（こうこうしゃ）」

優秀賞「ビッグウッド」

# 同窓会案内・開催報告

## 七大学共通

### 告知

#### ◎七大学若手会第4回講演会

<http://gakushikai.web.fc2.com>

旧七帝大出身で満45歳以下の同窓会組織が(一社)学士会共催にて講演会を開催いたします。今回、七大学若手会は会場にて学士会にご入会いただいた方に、初年度会費の一部補助を提供いたします。この機会に、まだ学士会に入会していない方をお誘いのうえ、ご参加ください。

【日時】 11月7日(土)13:30~17:30

【場所】 秋葉原UDX北ウィング8階

【講師】 宮本雄二氏(元駐中国大使)

【演題】 21世紀を生き抜く日本の覚悟

### 報告

#### ◎七大学若手会第3回講演会開催

8月8日大阪大学中之島センターで七大学若手会が(一社)学士会と大阪大学の共催、京都大学の後援を受け関西で初めて講演会を開催いたしました。講師に石黒浩氏大阪大学特別教授をお招きし盛

会となりました。(参加54名)

#### ◎七大学の野球部OBが熱戦、親睦を深める

今年も暑い中、硬球による真剣勝負! — 国立七大学の野球部OBが交流を深める「第23回七大学OB野球大会」が8月1日、東大球場(東大農学部グラウンド)で開催されました。参加者は世代が異なりながらはつらつしたプレーが相次ぎ、大学対抗形式で各2試合を戦いました。1試合65分制限で、守備の交代は自由、打順も参加者全員で回す特別ルール。開会式では南原晃常務理事が挨拶し、優秀選手には賞品(学士会館ビアホール無料招待券)が、全参加選手には参加賞(「日本野球発祥の地」月餅)が学士会・学士会館精養軒から贈られました。

また、大会前日は学士会館で前夜祭が行われ、親睦を深めました。

なお、戦績は以下の通り。

東北大1-5名大/九大14-1 阪大/京大4-7 東北大/名大12-3 九大/阪大5-3 北大/東大9-8 京大/北大4-0 東大

## 北海道大学

### 告知

#### ◎第34回北楡会総会・懇親会

<http://www.ist.hokudai.ac.jp/hokuyu-kai/>

【日時】 11月6日(金)

【会場】 東京表参道IVY HALL

北大大学院情報科学研究科に関連する学科(旧電気、電子、情報、生体系の

各学科)の卒業生は全て参加可能です。

#### ◎広島エルム会総会及び懇親会が開催されます

<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/alumni/pdf/20150930hiroshima.pdf>

広島エルム会は毎年11月前半に開催しておりますので、今回ご参加いただけない方も連絡先をご連絡くだされば会員

として登録し、以降の総会や例会のご案内を差し上げます。

※上記 URL 参照

## 東北大学

### 報告

#### ◎東北大学エイトクルー、ローマ五輪の復活親善レースを制す

7月30日、1960年のローマ五輪に出場した千葉建郎元主将と東北大学ポート部OBたちが、僅差で敗れたイタリア・クルーと、当時と同じローマ郊外アルバーノ湖においてエイト競技の“復活親善レース”を行い、55年ぶりに雪辱を果たしました。

気温30度を超える暑さの中、平均年齢約70歳の両国の元五輪選手や仲間たちが結集し熱戦を展開、試合後の盛大なレセプションでの交流に加え、本学里見

進総長の親書がローマ大学側に渡され、新たな親善の始まりとなりました。

#### ◎福島青葉会総会が開催されました

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/topics15.html#150901>

8月27日、福島グリーンパレスを会場に福島青葉会総会・講演会・懇親会が開催され、里見進総長、青木孝文副学長、長谷川史彦教授が出席いたしました。また、当日は福島県歌人會会長、今野金哉氏の講演も行われました。

総会では、平成28年4月1日付で、福島青葉会の名称を「東北大学福島萩友会」へ改称することが承認されました。

## 東京大学

### 告知

#### ◎東大三鷹クラブ国立劇場での歌舞伎観劇会

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/>

東大三鷹クラブでこれまで5回開催、好評でした国立劇場での歌舞伎観劇会、東大銀杏会にこの四月正式に入会したのを契機に、東京銀杏会の行事としても企画してみました。東京銀杏会のみならず、全国の東大同窓会の会員の皆様の参加をお待ちしています。

【日 時】 11月21日(土)

※詳細は上記 URL 参照

#### ◎鎌倉淡青会公開セミナー

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/>

会員の講演を通して、市民の皆様と一緒に学び、楽しむことが目的です。どなたでも気軽にご参加下さい。

※詳細は上記 URL 参照

### 報告

#### ◎東京大学教職支援ネットワーク設立イベント開催報告

[http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics\\_z0110\\_00010.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics_z0110_00010.html)

8月23日、東京大学教職支援ネットワーク設立イベントが開催され、50名近い会員の方々(卒業・修了生、在学生、教職員)にご参加いただきました。

東京大学教職支援ネットワークは、本学を卒業・修了されて学校教育現場でご活躍なさっている方、教職を志す在学生、教職課程に携わる教員らが集う会です。本学の教職課程の発展に資する交流を行う場、また、会員のみなさまからのご意見を頂戴できる場を目指しております。ご興味がおあり方は、ホームページ(<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/ut-knet/>)より会員登録の上、ぜひご参加ください。

## 名古屋大学

### 告知

#### ◎2015年度建築学総合セミナー

<http://www.nuac.nagoya-u.ac.jp/topics/sogo-seminar/sogo-seminar.html>

名古屋大学建築学総合セミナーは、建築・都市実務の第一線でご活躍の方々に講師にお招きし、建築学に興味のある皆様に対象に講演を行います。

本セミナーは、名古屋大学建築学教室同窓会（八いつ会）が後援しています。

**【日 時】** 11月20（金）、12月1日（火）、8日（火）各16:30～18:30

**【会 場】** 名古屋大学 東山キャンパス環境総合館1階レクチャーホール

#### ◎八いつ会（名古屋大学建築学教室同窓会）総会

<http://hachiitsukai.sakura.ne.jp/>

**【日 時】** 11月28日（土）16:30

## 京都大学

### 告知

#### ◎第10回京都大学ホームカミングデー開催のお知らせ

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/news/150521-1.html>

「京都大学同窓会」は、各部局等の同窓会および地域同窓会との連携協力により、今年、発足から10年目を迎えます。11月7日に「心」をテーマとして開催いたします。

講演会など、その他イベントを企画中です。詳細情報につきましては京都大学同窓会ホームページにて順次ご案内します。

**【日 時】** 11月7日（土）

**【会 場】** 京都大学百周年時計台記念館（メイン会場）

同日『第17回まちとすまいの集い』を開催予定

#### ◎平成27年度名古屋大学全学同窓会講演会・夕食会

<http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/#e1>

**【日 時】** 12月8日（火）16:00～17:30（開場15:30～）

**【会 場】** 名古屋大学理学南館1階 坂田・平田ホール

### 報告

#### ◎丸八キタン会総会・懇親会が開催されました

[http://www.kitankai.net/modules/pico1/index.php?content\\_id=17](http://www.kitankai.net/modules/pico1/index.php?content_id=17)

8月26日、経済学部同窓会キタン会の、名古屋市内職員の会員で構成されている「丸八キタン会」の総会がメルパルクNAGOYAにて盛大に開催されました。

**【お問い合わせ】** 京都大学同窓会

**【TEL】** 075-753-2029

**【e-mail】** [alumni@www.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:alumni@www.adm.kyoto-u.ac.jp)

### 報告

#### ◎台湾吉田会が京都大学同窓会へ加入しました

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/about/compete/global/024.html>

「台湾吉田会」では、台湾に駐在・留学されている京都大学学部、大学院のOBの方を中心として親睦を図ることを目的としており、また、「京仙会」（中国上海地区京大同窓会）、「えっっ京会」（東京地区上海関係者京大同窓会）といった他地域の京大同窓会との連携をすすめる、Globalに活躍されているOBの輪を

帰国後も含めて広げて行ければと考えております。

### ◎京都大学会計人会が京都大学同窓会へ加入しました

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/about/compete/domestic/029.html>

京都大学会計人会は、公認会計士、税理士の資格を有する京都大学学部、大学院に籍を置いた者の会です。

大学間のサミットなど他大学との交流も積極的に行います。

会員間の交流を深め、業務に関する研鑽を行うなど会員間の親交を深めると共に先輩が後輩の相談に乗るなど関係を深めていきます。京都大学同窓会会員の経営に関する相談、相続税などの相談も適時に行う予定です。

又、平成 29 年度から行われる予定の日本税理士会連合会の寄附講座の運営の中心となります。

### ◎第 13 回京都大学同窓会若手会・講演会（年次総会）開催

9 月 5 日、第 13 回京都大学同窓会若手会講演会が、年次総会と合わせて一般社団法人学士会の共催を受けて開催されました。

## 大阪大学

### 報告

### ◎北米同窓会をニューヨークで開催

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2015/201508/20150803\\_01](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2015/201508/20150803_01)

7 月 25 日、2015 年度北米同窓会理事会、講演会、総会・懇親会をニューヨークで開催し、地元ニューヨークやワシントン DC、ロサンゼルス等全米各地から、同窓生 40 数名、全体で 80 名以上の参加がありました。

平野俊夫総長（当時）から開会挨拶のあと、石黒浩特別教授（基礎工学研究

45 歳以下の京大卒業（修了）生等、41 名の参加がありました。講演では、和田紀夫氏（元 NTT 会長）に演題「何故、今、私は此処に居るか」にて登壇いただきました。その後グループ討論では、仕事の話から現在和田氏が日本棋院理事長を務めている事も有り、囲碁からの学びなど紹介され議論を深めました。

冒頭、学学生会事務局次長小堀康生氏からの挨拶も有り、学学生会への問い合わせも出ていました。

### ◎北海道京大会が開催されました

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events\\_news/office/soumu/shogai/news/2015/150724\\_2.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2015/150724_2.html)

7 月 24 日、札幌市内において北海道京大会が開催され、同窓生 46 名の参加がありました。

今回も北洋銀行の支援を得て、同銀行 4 階セミナーホールで、稲葉カヨ理事・副学長の「大学の近況報告と免疫の仕組み」に関する講演と、川合紀章寒地港湾技術研究センター事務局長（工学部・1979 年卒）による「雪氷冷熱を活用した北海道の物流改革」について講演が行われました。

科）から「ロボットと未来社会」、山田吉彦博士（NIH 歯科・頭蓋顔面研究所分子生物学チーフ）から「日米の研究制度と風土の比較及び将来への展望」と題してそれぞれ講演がありました。講演後の質疑応答も活発に行われ、盛況のうちに終了しました。

講演会後の総会では、平野総長から本学の近況報告が行われ、その後、海外の学術界で活躍する大阪大学の卒業生等を顕彰する称号「Global Alumni Fellow」が、当日参加された 6 名の方に平野総長から称号記が手渡されました。

## 告知

### ◎九州大学芸術工学部九州芸術工科大学同窓会渾沌会 2015 年総会開催

<http://konton.jp/topics/topics7.html>

渾沌会の 2015 年の総会は、11 月 7 日（土）15：00 から開催する予定です。皆さんお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

懇親会は 16：30 頃から、天神（大名）付近で開催予定です。

詳細は、上記 URL でお知らせします。

### ◎九州大学理学部同窓会第 13 回特別事業「伊都キャンパスでの講演会・理学部新館見学会・九大祭・懇親会」のご案内

[http://alumni.sci.kyushu-u.ac.jp/news/news\\_150810\\_2.html](http://alumni.sci.kyushu-u.ac.jp/news/news_150810_2.html)

【日 時】 11 月 22 日（日）

【場 所】 九州大学伊都キャンパス理学部新館

【問い合わせ先】 九州大学理学部同窓会事務局

【TEL】 092-642-2519

## 報告

### ◎九州大学壬子会社会人学生交流会を開催いたしました

[https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/110/association\\_events/detail/174](https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/110/association_events/detail/174)

7 月 17 日、ハイアットリージェンシー福岡にて、九州大学壬子会社会人学生交流会を開催いたしました。

壬子会に関するお問い合わせは、以下の通りです。壬子会事務局 TEL & FAX：092-807-0950、E-Mail：jinshikai@doc.kyushu-u.ac.jp

### ◎九州大学関西同窓会 2015 年度総会およびビアパーティーを開催いたしました

[http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/65/association\\_news/detail/392](http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/65/association_news/detail/392)

7 月 28 日、ハートンホテル北梅田（大阪市北区豊崎 3 丁目 12 番 10 号）にて九州大学関西同窓会 2015 年度総会およびビアパーティーを開催いたしました。

九州大学関西同窓会事務局（九州大学大阪オフィス内）は、学生、教員、同窓生のための施設でございます。JR 大阪駅から至近の場所ですので、同窓会などの打ち合わせに、活用していただきたく、ご案内いたします

【場 所】 〒530-0001 大阪市北区梅田 1-3-1-600 大阪駅前第 1 ビル 6 階 1-117 号

【TEL】 06-4797-6280

【E-mail】 [osaka-office@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:osaka-office@jimu.kyushu-u.ac.jp)

### ●同窓会の開催告知・開催報告を募集しております

同窓会名称・開催日・開催場所・連絡先（問い合わせ先）を明記してください。また、既に開催された報告の場合は、報告文章は 300 字以内とし、写真は 1 点までといたします。

投稿にあたっての注意点、原稿送付先は 37 頁をご参照ください。

## 会員活動・会員の声 募集のご案内

### ●「会員通信」の投稿原稿を募集しております

各号で設定したテーマに関する「会員の声」を募集します。テーマは、1月号掲載分：“挑戦”（締め切り10月15日）、3月号掲載分：“旅立ち”（締め切り12月15日）です。800字以内（写真スペースを含む）にまとめて、メールでお送りください。

「会員の活動報告」として会員同士の交流やイベントの報告をお寄せ下さい。200字程度、写真データ（jpeg等）は2枚まででお願いします（都合により、掲載写真は1枚となる可能性もあります）。

「会員著作物紹介」では、ご自身の著作物をご紹介します。著作名・著作者・紹介文（200字以内）・著作物表紙写真をデータ（jpeg等）でお送りください。著作物は一般販売しているものに限ります。

「会員ギャラリー」では、写真の他、絵画・生け花・陶器などの作品も写真でご紹介いただけます。

=====

- ・政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正させていただく場合がありますのでご了承ください。
- ・英文での投稿も可能です。
- ・投稿にあたっては、氏名・会員番号を明記の上、Eメールで下記アドレスまでお送りください。
- ・投稿の受信確認及び掲載可否の連絡はいたしません。
- ・掲載原稿・作品は事務局で選定されたものとなり、選考に関する質問にはお答えできません。
- ・作品（データを含む）は原則として返却いたしません。なお、お送りいただきました内容は学士会交流サイト「謝恩の情」（<http://www.gakushikai-salon.jp/>）にも掲載させていただきます。

**送付先・お問い合わせ先：nuseven@gakushikai.or.jp**

告知

学士会主催



**夕食会・午餐会** (2015年11月 [場所] 学士会館  
～2016年1月) [参加費] 4,000円 (講演のみ 2,000円)

◎**夕食会** (18:00～食事/18:50～講演/19:50～質疑応答)

**11月10日(火) 吉川 洋氏** (東京大学大学院経済学研究科教授)

「**財政再建と日本経済**」

1974年東京大学経済学部経済学科卒業。1996年から現職、財政制度等審議会会長も務める。2010年紫綬褒章受章。

**12月10日(木) 秋下 雅弘氏** (東京大学医学部附属病院老年病科教授)

「**高齢者の賢い薬の飲み方・減らし方**」

1985年東京大学医学部医学科卒業。2002年杏林大学医学部高齢医学助教授。2004年東京大学大学院医学系研究科高齢医学講座助教授を経て、2013年から現職。

1月は休会です。

**1月8日(金)に、新春講演会を開催します。**

◎**午餐会** (12:30～食事/13:20～講演)

**11月20日(金) 大村 敦志氏** (東京大学大学院法学政治学研究科教授)

「**家族の多様化と家族法の対応**」

1982年東京大学法学部第1類卒業。1985年東京大学法学部助教授を経て、現職。法制審議会民法(債権関係)部会幹事、同民法(相続関係)部会部会長。

12月は休会です。

**1月20日(水) 東儀 秀樹氏** (雅楽師)

「**雅楽～そのグローバルな魅力**」

1959年東京生まれ。1996年デビューアルバム「東儀秀樹」で脚光を浴び、以後次々とアルバムをリリース。現在はさまざまなジャンルとコラボレーションし、雅楽の持ち味を生かした独自の創作や表現に情熱を傾ける。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00) MAIL: koenkai-info@gakushikai.or.jp



告知 学士会主催



## 東京国立博物館見学会

[場 所] 東京国立博物館

[参加費] 2,000 円

2015 年 11 月 11 日 (水) 14:00 ~ 16:00 ※時間変更の可能性あり

東京国立博物館(台東区上野公園 13-9)の本館2階を、学芸員のご説明のもと見学いたします。菱川師宣筆「見返り美人図」が期間限定で公開中です。

※内容は変更になる場合がございます。公式サイトをご確認ください。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00~17:00)

URL: <http://www.gakushikai.or.jp/>



見返り美人図 菱川師宣筆  
国立博物館蔵

告知 学士会主催 五輪代表選手に学ぶ



## 初心者向け ランニング教室

[場 所] 学士会館、皇居外周

[参加費] 8,500 円 (同伴 9,500 円)

2015 年 11 月 23 日 (月・祝) 9:00 ~ 12:00 ※雨天決行

2009 年世界陸上ベルリン大会女子マラソン銀メダリストで、2012 年ロンドンオリンピック日本代表の尾崎好美氏とともに、皇居外周をランニングしませんか？

※疾病や傷病、事故、紛失等に関し、学士会は一切の責任を負いません。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00~17:00)

MAIL: [jigyou@gakushikai.or.jp](mailto:jigyou@gakushikai.or.jp)



告知 学士会・名古屋大学全学同窓会共催



## 名古屋講演会

16:00 ~ 講演会

18:00 ~ 夕食会

[場 所] 名古屋大学 坂田・平田ホール

[参加費] 無料 (夕食会まで 5,000 円)

2015 年 12 月 8 日 (火) 宮池 克人氏 (中日本高速道路株式会社代表取締役社長 CEO / 中部電力株式会社顧問)

「高速道路 四方山話  
よもやま

~ 名神高速道路が全線開通して 50 年 高速道路の過去・現在・未来 ~

1971 年名古屋大学大学院工学研究科修了。同年中部電力株式会社入社。同社常務取締役執行役員、代表取締役副社長執行役員を経て、2013 年同社顧問。2014 年から現職。

申込締切は、11 月 20 日 (金) 17:00 まで。

詳細は、学士会公式サイト

または名古屋大学全学同窓会 Web サイトまで。

名古屋大学全学同窓会 URL: <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>



告知 学生会主催



## クリスマス家族会

[場 所] 学生会館

[参加費] 大人 5,000 円 子供 2,500 円

2015 年 12 月 19 日 (土) A 組 12:00 ~ 15:00 ・ B 組 16:00 ~ 19:00

「劇団こぐま座人形劇『三びきのこぶた』『クリスマスコンサート』」

恒例、クリスマス家族会の申込を開始します。  
クリスマス特別料理と「劇団こぐま座人形劇」の  
催しで皆様をお迎えします。※キッズルームあり

詳細は、学生会公式サイトまたは会員支援課まで。

TEL : 03-3292-5931 (平日 9:00 ~ 17:00)

MAIL : contact@gakushikai.or.jp



告知 学生会主催



## 新年祝賀会

12:30 ~ 賀宴

13:30 ~ 催し

[場 所] 学生会館

[参加費] 4,000 円 (お正月料理付き)

2016 年 1 月 5 日 (火) 「学生会 新春歌舞伎」

2016 年の新年祝賀会の催しは「歌舞伎」です。お屠  
蘇付きのお正月料理の後に、歌舞伎鑑賞をお楽しみくだ  
さい。

詳細は、学生会公式サイトまたは会員支援課まで。

TEL : 03-3292-5931 (平日 9:00 ~ 17:00)

MAIL : contact@gakushikai.or.jp



告知 学生会主催



## 平成 28 年新春講演会

19:30 ~ 講演会

20:40 ~ 懇親会 (立食)

[場 所] 学生会館

[参加費] 4,000 円 (講演のみ 2,000 円)

2016 年 1 月 8 日 (金) 天野 浩氏

(名古屋大学未来材料・システム研究所

未来エレクトロニクス集積研究センター センター長・教授)

「世界を照らす LED」

1983 年名古屋大学工学部卒業。2002 年名城大学教授、  
2010 年名古屋大学大学院工学研究科教授を経て、2015  
年から現職。2014 年文化勲章、ノーベル物理学賞受賞。

12 月 1 日 (火) より申込受付を開始します。

詳細は、学生会公式サイトまたは事業課まで。

TEL : 03-3292-5955 (平日 9:00 ~ 17:00)

MAIL : jigyou@gakushikai.or.jp



告知



## 京都大学ホームカミングデイに出店決定！

2015年11月7日(土) 第10回京都大学ホームカミングデイ

告知



学士会主催

土曜カフェ

15:00～

[場所] 学士会館

[参加費] 1,000円

11月28日(土) / 1月30日(土)

12月12日(土)は「土曜ランチ」(12:00～)

※食事付き 2,000円

毎月最終土曜日に 35才までの会員を対象・少人数での“ハナシバ”土曜カフェを開催中です。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL : 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL : jigyou@gakushikai.or.jp



報告



学士会主催

## 第10回若手交流会開催報告

[場所] 学士会館

2015年9月11日(金) 吉川 美代子氏 (元TBSアナウンサー)

「相手に伝える、伝わる話し方」

元TBSアナウンサーの吉川美代子氏をお迎えして行われた講演会では、37年間のアナウンサー経験に裏打ちされた説得力のある話を伺いました。講演後の懇親会では、名刺交換や質問、写真撮影を待つ参加者で、吉川氏の周りは終始賑わっていました。



報告



学士会主催

## 第6回女性会開催報告

[場所] 「谷根千」エリア (谷津・根津・千駄木)

2015年10月3日(土)

「乃池」名代・穴子寿司ランチと秋の“谷根千”めぐり

秋の女性会は、散策エリアとして人気の“谷根千”を、街歩きボランティアガイドの方と一緒にめぐりました。当日は天候にも恵まれ、心地よい秋空のもと、“歩く・見る・食べる”全てを満喫しました。

次回は、12月5日(土)に「手作りのお正月飾り」で2016年を迎えよう！(仮)を開催予定です。





学士会・学士会館共催

## 「親から始める子どものための良縁講座」開催報告

【場 所】  
学士会館

2015年8月29日(土) 13:30～16:30

未婚のお子様をお持ちの親御様を対象にした初のイベント「親から始める子どものための良縁講座」を開催しました。

第一部の講演会では、現代の結婚事情と、親世代が知っておくべき事を学びました。第二部は、「婚親会」と題し、異性の子を持つ親同士が順番に交流していく《2分間お見合い》を実施、皆、膝を突き合わせて真剣に話し合っていました。

第2弾の開催も決定。詳細は学士会公式サイトをご覧ください。



学士会館主催

## フランス料理界の至宝・テットドワ氏が初来日！

2015年11月20日(金) 18:30～21:00

「至高のフルコースとワインのマリアージュ」



MOF(フランス最優秀職人章)の称号を持ち、自身のお店がフランス・ミシュラン一つ星を獲得したこともあるクリスチャン・テットドワ氏プロデュースの晩餐会を開催します。テットドワ氏は今回が初来日！本場の味を、この機会にぜひご堪能ください。

詳細は、学士会館公式サイトまたは渉外課まで。

TEL: 03-3292-5934 (専用窓口)

URL: <http://www.gakushikaikan.co.jp/special/wine/>

報告



## 「花まゆ」展を開催しました

2015年7月30日(木) ～ 8月30日(水)

学士会館1階廊下にて、「花まゆ」展を開催しました。この花まゆは、美智子皇后が皇居内で飼育されている純国産の蚕「小石丸」のまゆを使って制作されています。本物と見間違ふほどの作品の数々に、来館された人々の目はくぎ付けとなっていました。期間中、岩井賢太郎富岡市長も来館されました。





報告 学士会館・毎日新聞社主催

## 「チェンミンを聴く 日本ワインとフレンチの夕べ」

2015年7月31日(金) 19:00～21:00

二胡奏者・チェンミン氏の演奏を聴き、日本産ワイン「グレイスワイン」と学士会館のフレンチを食すという本企画は、チェンミン氏が二胡を弾きながら登場するというサプライズに、開始早々から参加者は大盛り上がりとなりました。

もう一つの主役であるお酒と料理でも、日本ではほぼ流通していないという貴重なワインと、学士会館のオリジナリティーあふれるフレンチに全員が酔いしれ、心も体も大満足の一夜を過ごしました。



報告 シリーズ：「飲と食とトーク」至福のハーモニー 第4回

## 「日本産プレミアムワインと継承のフレンチ」

2015年9月7日(月) 18:30～21:00

学士会館1階レストラン「Latin」(ラタン)にて開催された「シリーズ：「飲と食とトーク」至福のハーモニー」第4回のお酒は日本産ワイン「マンズワイン・ソラリスシリーズ」でした。

「Latin」の格調高い雰囲気の中、ワイン・フレンチと、「芳醇な」会話を堪能しました。



## ロケ・ニュース (2015年8月・9月・10月)

学士会館でロケが行われ、8月～10月に放映された内容を抜粋してお知らせします。

◎テレビ朝日「金曜ナイトドラマ 民王」／9月18日(金) 23:15～  
[ロケ場所] 320号室前ロビー

◎日本テレビ「新日曜ドラマ エンジェル・ハート」  
／10月11日(日) 22:00～  
[ロケ場所] 210号室

◎テレビ朝日「ドラマ特別企画 ハッピーリタイアメント」  
／10月18日(日) 21:00～  
[ロケ場所] 302号室



# 七大学書籍ランキング BEST 5

期間：2015年9月1日～2015年9月30日

## 北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 ヴィクトリア	クヌート・ハムスン	岩波書店
	2 バンセ 上	ブレース・パスカル	岩波書店
	3 生きて帰ってきた男	小熊英二	岩波書店
	4 二つの母国に生きて	ドナルド・キーン	朝日新聞社
	5 櫻子さんの足下には死体が埋まっている はじまりの音	太田紫織	KADOKAWA
一般書	1 北海道病院のおいしい健康ごはん	北海道大学病院	北海道新聞社
	2 検証・安保法案	長谷部恭男	有斐閣
	3 集団的自衛権はなぜ違憲なのか	木村草太、國分功一郎	晶文社
	4 民主主義ってなんだ？	高橋源一郎、SEALDs	河出書房新社
	5 アイヌ民族の歴史	関口明 他3名（編）	山川出版

## 東北大学生協 書籍部 文系店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 中国の歴史	岸本美緒	筑摩書房
	2 ナチスの戦争 1918-1949	リチャード・ベッセル	中央公論新社
	3 地方消滅の罨	山下祐介	筑摩書房
	4 知的トレーニングの技術	花村太郎	筑摩書房
	5 カール・ポランニーの経済学入門	若森みどり	平凡社
一般書	1 集団的自衛権はなぜ違憲なのか	木村草太、國分功一郎	晶文社
	2 職業としての小説家	村上春樹	スイッチ・パブリッシング
	3 「学力」の経済学	中室牧子	ディスカヴァー・トゥエンティワン
	4 現職人事が答える公務員試験で受験生が気になること 2017年度版	大賀英徳（編）	実務教育出版
	5 公務員の仕事入門ブック	受験ジャーナル編集部（編）	実務教育出版

## 東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	2 東大式やさしい物理	三澤信也	彩図社
	3 ロスジェネの逆襲	池井戸潤	文藝春秋
	4 知的トレーニングの技術	花村太郎	筑摩書房
	5 天空の蜂	東野圭吾	講談社
一般書	1 職業としての小説家	村上春樹	スイッチ・パブリッシング
	2 圏論の歩き方	圏論の歩き方委員会（編）	日本評論社
	3 人工知能は人間を超えるか	松尾豊	KADOKAWA
	4 「学力」の経済学	中室牧子	ディスカヴァー・トゥエンティワン
	5 できる研究者の論文生産術	ポール・J. シルヴィア	講談社

## 名古屋大学生協 書籍部 BOOKS フロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 天野先生の「青色LEDの世界」	天野浩、福田大展	講談社
	2 科学者は戦争で何をしたか	益川敏英	集英社
	3 ファインマンさん最後の授業	レナード・ムロディナウ	筑摩書房
	4 禁断の魔術	東野圭吾	文藝春秋
	5 ロスジェネの逆襲	池井戸潤	文藝春秋
一般書	1 科研費獲得の方法とコツ	児島将康	羊土社
	2 「学力」の経済学	中室牧子	ディスカヴァー・トゥエンティワン
	3 圏論の歩き方	圏論の歩き方委員会（編）	日本評論社
	4 職業としての小説家	村上春樹	スイッチ・パブリッシング
	5 世界で一番美しい分子図鑑	セオドア・グレイ	創元社

## 京都大学生協 BOOK センタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 科学者は戦争で何をしたか	益川敏英	集英社
	2 研究を深める5つの問い	宮野公樹	講談社
	3 京大医学部で教える合理的思考	中山健夫	日本経済新聞出版社
	4 京都ざらい	井上章一	朝日新聞出版
	5 命売ります	三島由紀夫	筑摩書房
一般書	1 職業としての小説家	村上春樹	スイッチ・パブリッシング
	2 圏論の歩き方	圏論の歩き方委員会（編）	日本評論社
	3 学術書を書く	鈴木哲也、高瀬桃子	京都大学学術出版会
	4 現代思想 第43巻第14号(10月臨時増刊) 総特集：安保法案を問う		青土社
	5 TOEIC テスト新公式問題集 vol. 6	Educational Testing	国際ビジネスコミュニケーション協会

## 大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 吊いの文化史	川村邦光	中央公論新社
	2 ロスジェネの逆襲	池井戸潤	文藝春秋
	3 光と重力	小山慶太	講談社
	4 知的トレーニングの技術	花村太郎	筑摩書房
	5 本にだって雄と雌があります	小田雅久仁	新潮社
一般書	1 職業としての小説家	村上春樹	スイッチ・パブリッシング
	2 超ひも理論をパパに習ってみた	橋本幸士	講談社
	3 掟上今日子の備忘録	西尾維新	講談社
	4 生きるってなんやらか？	石黒浩、鷲田清一	毎日新聞出版
	5 民主主義ってなんだ？	高橋源一郎、SEALDs	河出書房新社

## 九州大学生協 文系購買書店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 宇沢弘文のメッセージ	大塚信一	集英社
	2 半市場経済	内山節	KADOKAWA
	3 財務省と政治	清水真人	中央公論新社
	4 これでいいのだ！瀬尾ごはん	瀬尾幸子	筑摩書房
	5 弥生時代の歴史	藤尾慎一郎	講談社
一般書	1 憲法演習ノート	宍戸常寿（編）	弘文堂
	2 岩波講座日本歴史 第14巻（近世5）	大津透 他4名（編）	岩波書店
	3 検証・安保法案	長谷部恭男	有斐閣
	4 世界史の中の日本国憲法	佐藤幸治	左右社
	5 歴史から理論を創造する方法	保城広至	勁草書房

# 編 集 後 記

『學士會會報』9月号の美術館だよりに掲載されていたホキ美術館に行ってきた。写実絵画を専門に展示している美術館である。展示されている作品は、写真のようでありながら写真とはまた違った、存在についての思いを見る人に伝えている。驚いたのは1時間以上歩いて全く疲れないことである。床がゴムチップでできているようだ。『NU7』も会員の作品を掲載することになった。多くの作品が寄せられて誌面が盛り上がることを期待している。

(編集委員：佐藤千恵子)

学会会員つまり七つの旧帝国大学の卒業者であるということは何を意味するのだろうか？ 設備環境、教授陣、研究予算、全てに最上級の恵まれた条件下で学問を成し得たということは、国費によってそれだけの恩恵を受け、その必然として社会的義務を負うということだろうか。いわゆるノブレス・オブリージュに通ずるものがあるように思える。高い精神性や美学を求める武士道や騎士道の様に真の意味のリーダー達か。秋の澄み切った夜空を仰いで、天空の数多くの星の中で七つの星が連なって美しい北斗七星を描くように『NU7』を考える。

(編集委員：田村恵美子)

『NU7』となってからは学会会員のみならず、会員候補となる学生や親御さんにも配布し、親しまれる誌面になるように努力しているつもりだ。

特に、読者からの投稿や学会の実際の活動の紹介など実際にリアルで交流している部分の紹介を通じてリアルな繋がりの方が紹介出来ればと考えている。

学会の会員として人生を歩むことのメリットを伝えるにはどのような内容がよいのか？ 是非読者の方の意見も頂けるとありがたい。

(編集委員：吉積礼敏)

## NU7 第2号

2015年 11月1日 発行

編集兼  
発行人

南原 晃

発行元

一般社団法人学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28

TEL：03-3292-5930

FAX：03-3292-2779

homepage：http://www.gakushikai.or.jp

e-mail：nuseven@gakushikai.or.jp

印刷所

大日本法令印刷



# 会員通信

## 会員ギャラリー



ベルギー・ブルージュ



オランダ・アムステルダム郊外

(清永忠 会員・東大・文・昭38)

# 学士会の活動・サービス一覧

## 七大学への支援・連携

- ・「全国七大学総合体育大会（七大学戦）」への特別協賛（協賛金、優勝トロフィー）
- ・七大学との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・七大学との共催イベント（東京大学とのイベント「七夕パーティー2015」など）
- ・七大学支部連絡室の提供

## 七大学関連団体との連携

- ・七大学の同窓会との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・お互いの主催イベントへの相互協力
- ・七大学OB合同イベントへの協力（「七大学OB野球大会」への支援など）

## 会員活動に対する支援

- ・同好会活動への支援（撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語）
- ・学生会館の会員倶楽部室（撞球、囲碁、将棋、会員会議室）の利用
- ・学生会館の談話室、読書室の利用（いずれもWi-Fi利用可）

## 会員向け活動・サービス

- ・『學士會会報』『会員氏名録』『NU7』の発行
- ・「夕食会」「午餐会」「若手交流会」「関西茶話会」「新春講演会」「地域講演会」などの講演会開催、「新年祝賀会」「クリスマス家族会」などのイベント開催
- ・メールマガジンの配信（登録者向けに毎月1日発行 / 読者プレゼントあり）
- ・学生会館専用サイト「交流サロン・謝恩の情」の利用（NU7+・同好会だよりの閲覧）
- ・鑑賞ツアー（観劇、コンサートなどの割引チケット提供およびプログラム提供などの特典）
- ・引っ越しや葬祭時の割引特典（クロネコヤマト・アート引越センター / セレモア）
- ・スポーツクラブの割引利用（ルネサンス・ドゥミルネサンス）
- ・住宅に関する総合案内「住まいサポート」（パナホーム・住友林業）
- ・（終身会員のみ）夕食会・午餐会参加時のソフトドリンク1杯無料サービス
- ・事典・辞書のデータベース「ジャパンナレッジ」の割引利用
- ・東京国立近代美術館の割引利用
- ・「しがくのやど」（日本私立学校振興・共催事業団運営の会館・宿泊施設）の割引利用
- ・生涯メールアドレスの提供（希望者のみ）
- ・会員作品（書籍・絵画等）の展示（学生会館）

## 学生会館事業

- ・婚礼プラン利用の際、お祝い金（5万円）贈呈
- ・宿泊および集宴会を会員価格にて利用（終身会員は会員価格から10%割引）
- ・レストランでのディナー・飲食料、本人の料金に限り10%割引（終身会員はランチも10%割引）
- ・レストランの個室料無料
- ・特別イベントに会員価格にて参加（シリーズ“飲と食とトークー至福のハーモニー”）



Since 1928

主催：学士会館 協力：フランス料理文化センター

# フランス料理界の至宝 テットドワ氏が来日！

学士会館では、フランスの食の都リヨンからMOF（フランス最優秀職人章）の称号を持つフランス人シェフ、クリスチャン・テットドワ氏（メートル・キュイジニエ・ド・フランス協会会長）をお招きし、日本で初めて彼の手掛ける晩餐会を開催いたします。この機会に、伝統のフランス料理を、ぜひご堪能ください。

## 「至高のフルコースと ワインのマリアージュ」

日時 11月20日（金）18時受付 18時30分～21時

会場 学士会館210号室

定員 120名（事前予約制）

会費 お一人様 25,000円（税込） 学士会会員 20,000円（税込）

内容 テットドワ氏のフランス料理フルコースとフランスワイン

お申込み受付 9月1日（火）10時より

お問合せ・お申込み

学士会館公式サイト <http://www.gakushikai.co.jp/>

又はTEL. 03-3292-5934（専用窓口）

●11月21日（土）には、学士会館1階のフランス料理レストラン「ラタン」で、ディナータイムに限りテットドワ氏のコースが、学士会会員特典（10%割引・同伴者も適用）で、お楽しみいただけます。詳細は、Web公式サイトをご覧ください。

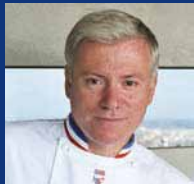


写真はイメージです。

クリスチャン・テットドワ「Christian TETEDOIE」

フランスのリヨンにある「クリスチャン・テットドワ」オーナーシェフ  
1996年にMOF（フランス最優秀職人章）取得  
メートル・キュイジニエ・ド・フランス協会会長

幼少より家族の影響で料理に親しみ、地元の誇る名店「ポール・ボキューズ」に憧れて料理人の道へ。17歳でフランス最優秀アプランティ（見習い）に選ばれる。ポール・ボキューズ、ジョルジュ・ブランらのグランシェフの下やエリゼ宮で修業を重ねる。1986年、リヨンに戻り、オーナーシェフとして「テットドワ」をオープン。好評を得るが更に精進して1996年、MOFの称号を取得。2000年にはフランス「ミシュランガイド」一ツ星を獲得する。新たなプロジェクトに挑戦しつつ、「メートル・キュイジニエ・ド・フランス協会」では会長の任をつとめ、世界のフランス料理伝導者として活躍している。



# 学士会館

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28  
TEL 03-3292-5936 FAX 03-3292-0882  
<http://www.gakushikai.co.jp/>

# 学士会の紹介

学士会は、国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約5万人からなる総合同窓団体です。

学士会の発端は、明治19（1886）年に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会。あれから129年。現在は、七大戦特別協賛をはじめとした七大学への支援や、七大学同窓団体との連携、会員向けに様々なサービスを展開しています。



## 会員資格

七大学の卒業生（学士・修士・博士）

七大学の教職員（教授・准教授・助教など）

七大学の学生

※詳細は、学士会公式サイト「情報公開」の定款をご覧ください。  
※学生は、学生会員への登録になります。登録料は無料です。

## 会費

入会金なし、年会費4,000円

※学部卒業後2年間は3,000円（学士会事業年度は4月1日～翌3月31日）。  
※会費一括納入の終身会員制度もございます。お問い合わせください。

## 主な会員サービス

最新情報をお届けする学士会メールマガジンは、どなたでもご覧いただけます。公式サイトよりご登録ください。



## 『學士會会報』の発行

明治20（1887）年より今まで続けている『學士會会報』は、年6回奇数月に発行、ご指定の住所にお届けしています。

最新号・バックナンバーの目次を、公式サイトに掲載中です！



## 講演会やイベントの開催

「夕食会」「午餐会」「関西茶話会」「地域講演会」「若手交流会」「女性会」など地域・年齢を考慮した講演会・イベントを開催しています。

『NU7』に今後の予定や開催報告を掲載中です！



平成28年新春講演会  
講師：天野 浩氏



## 企業と連携したサービス

オペラや観劇などのチケット割引サービス「鑑賞ツアー」（オプション付き）や、スポーツクラブなどの割引サービス等を行っています。

スポーツクラブ「ルネサンス」が割引価格で利用できます。健康維持は日々の運動習慣から！

「しがくのやど」（宿泊・保養所）の割引利用や、インターネット辞書検索サイト「ジャパナレッジ」の割引利用なども大人気です！



## 「学士会館」の運営



集宴会や婚礼、宿泊には会員優待のある「学士会館」（東京都千代田区）をご利用ください。

※写真はイメージです。

フランスからシェフを招いての晩餐会を11月20日に開催します。詳細は裏面をご覧ください。

入会をご希望の方は、学士会公式サイトからお手続きください。

<http://www.gakushikai.or.jp/>



一般社団法人 学士会

入会に関するお問い合わせは学士会総務企画課まで /03-3292-5933（平日9時～17時）